令和８年度　行政評価
（令和７年度実績）

令和8(2026)年11月

岡　　山　　県

目次

行政評価制度体系図 1

達成レベルの考え方及び指標の類型と評価基準 2

行政評価の概要
（施策の達成レベルと戦略プログラムの達成レベル） 4

Ⅰ　結婚・子育ての希望がかなう社会の実現

出会い・結婚応援プログラム 15
妊娠・出産・子育て支援プログラム 17
子育てと仕事の両立支援プログラム 19

Ⅱ　夢を育む教育県岡山の推進

学ぶ力育成プログラム 21
徳育・体育推進プログラム 24
多様な教育ニーズ支援プログラム 27
グローバル人材育成プログラム 30

Ⅲ　地域を支える産業の振興

企業誘致・投資促進プログラム 32
企業の「稼ぐ力」強化プログラム 35
観光振興プログラム 39
儲かる農林水産業加速化プログラム 41
働く人応援プログラム 44

Ⅳ　安心で豊かさが実感できる地域の創造

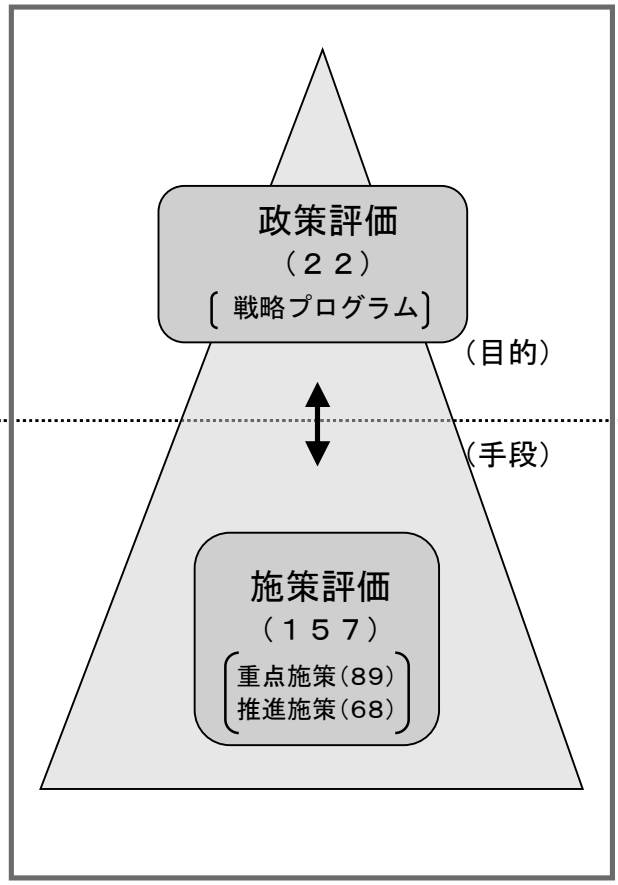
保健医療充実プログラム 47
福祉サービス推進プログラム 50
子ども・若者支援プログラム 52
防災対策強化プログラム 54
暮らしの安全推進プログラム 57
持続可能な中山間地域等形成プログラム 59
快適な環境保全プログラム 62
脱炭素化推進プログラム 65
生きがい・元気づくり支援プログラム 67
情報発信力強化プログラム 69

行政評価制度体系図

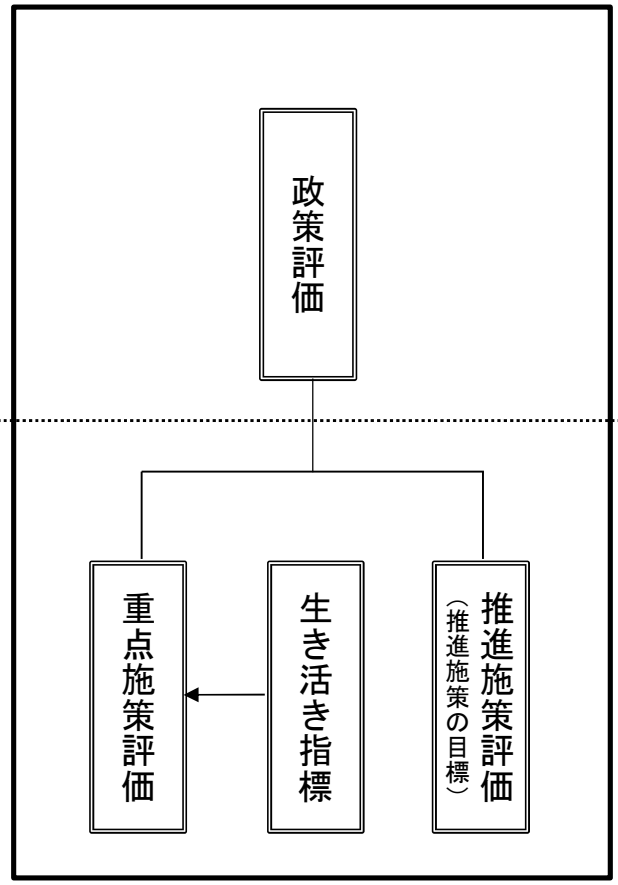
【政策評価】
　２２の戦略プログラムごとに施策の達成レベルの平均で評価するとともに、施策の達成レベルの平均を踏まえ、プログラム全体の取組状況について自己評価し、今後の政策推進に向けての課題を明らかにする。

【施策評価】
　８９の重点施策と６８の推進施策を生き活き指標の達成度等（施策の達成レベル）で評価し、今後の施策推進に向けての課題を明らかにする。

○行政評価制度



○評価の体系



達成レベルの考え方及び指標の類型と評価基準

１　施策の達成レベルについて

（１）施策ごとに対応する指標が一つの場合、または複数でも達成度が同じ場合は下記３の基準により１から５の５段階で評価する。

（２）施策ごとに対応する指標が複数あり、指標の達成度が異なるものがある場合は平均により評価し、原則として以下による。

達成レベル	達成レベルの考え方
5.0	全ての指標が目標を大きく上回った施策
4.0～4.9	多くの指標が目標を達成した施策
3.0～3.9	目標を達成した指標がある一方、達成できなかった指標もある施策
1.0～2.9	多くの指標で目標を達成できなかった施策

※施策の達成レベルは４ページ以降に記載

２　戦略プログラムの達成レベルについて

施策の達成レベルの平均で評価し、原則として以下による。

達成レベル	達成レベルの考え方
5.0	全ての施策の指標が目標を大きく上回ったプログラム
4.0～4.9	多くの指標が目標を達成した施策が多いプログラム
3.0～3.9	多くの指標が目標を達成した施策がある一方、達成できなかった指標がある施策もあるプログラム
1.0～2.9	多くの指標で目標を達成できなかった施策が多いプログラム

※戦略プログラムの達成レベルは4ページ以降に記載

３　指標の達成度の評価基準について（主なもの）

〇割合や実数で示す指標

５：達成率が120%以上

４：達成率が100%以上120%未満

３：達成率が80%以上100%未満

２：達成率が50%以上80%未満

１：達成率が50%未満

※詳細は３ページ「指標の類型と評価基準」に記載
※指標は15ページ以降、各プログラムごとに記載

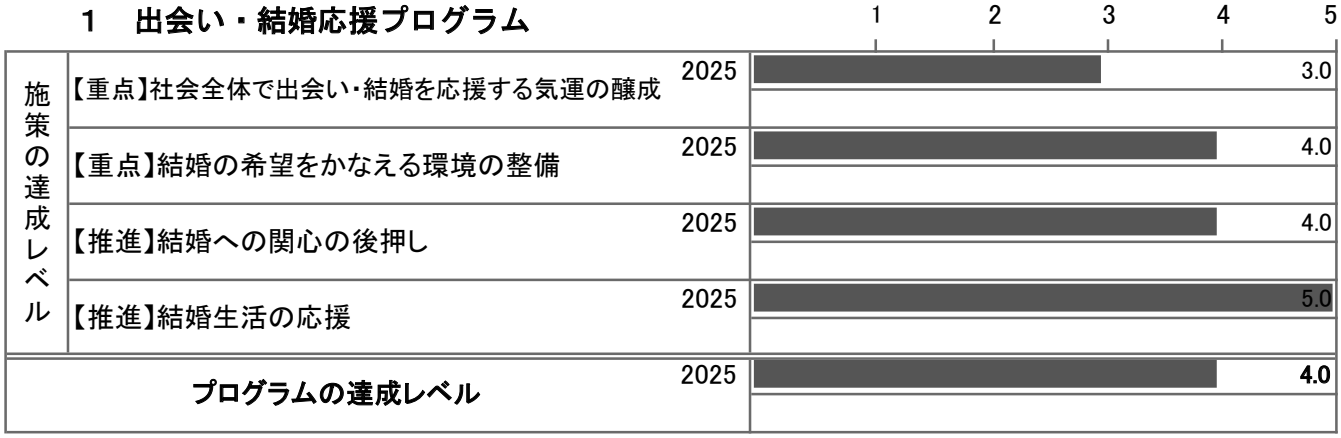
４　指標の類型と評価基準

指標の類型	評価の考え方	達成度の評価基準
割合で示す指標 (47指標)	〈計算方法〉 達成率＝実績値／目標値 削減目標の場合 達成率＝目標値／実績値	5：達成率が120%以上 4：達成率が100%以上120%未満 3：達成率が80%以上100%未満 2：達成率が50%以上80%未満 1：達成率が50%未満 〈達成率が上限100%の場合〉 5：達成率が100% 4：達成率が90%以上100%未満 3：達成率が70%以上90%未満 2：達成率が50%以上70%未満 1：達成率が50%未満
実数で示す指標 (51指標)	同上	同上
実数で示す指標のうち、現況維持に意義があり、現況値に対する最終目標値の増減割合が極めて小さい指標(15指標) (最終目標値／現況値が0.9以上1.1以下)	〈計算方法〉 達成率＝実績値／目標値 削減目標の場合 達成率＝目標値／実績値	5：達成率が110%以上 4：達成率が100%以上110%未満 3：達成率が90%以上100%未満 2：達成率が80%以上90%未満 1：達成率が80%未満
全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差で示す指標 （２指標）	全国平均を超えることを目標としているため、全国平均を上回った場合を４として評価する。	5：全国平均＋３ポイント以上 4：全国平均＋１ポイント以上 3：全国平均－１ポイント以上 2：全国平均－３ポイント以上 1：全国平均－３ポイント未満
国民スポーツ大会順位の指標 （１指標）	国民スポーツ大会順位上位には大都市を有する都道府県がおり、過去の順位の状況を踏まえて評価する。	5：10位以上 4：11位から14位 3：15位から19位 2：20位から29位 1：30位以下
全国における認知度順位の指標 （１指標）	現況値を上回ることを目指しており、過去の順位の状況を踏まえて評価する。	5：現況値－５位以上 4：現況値－１位以上 3：現況値以下 2：現況値＋５位以下 1：現況値＋15位以下

行政評価の概要（施策の達成レベルと戦略プログラムの達成レベル）

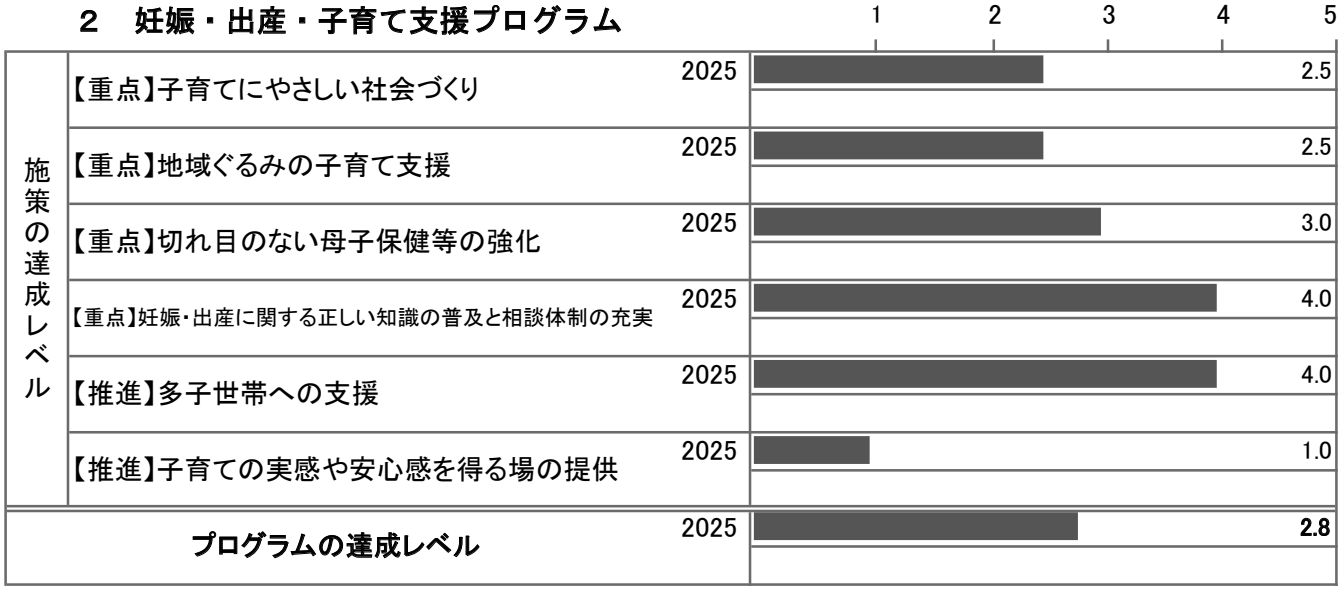
Ⅰ　結婚・子育ての希望がかなう社会の実現

１　出会い・結婚応援プログラム

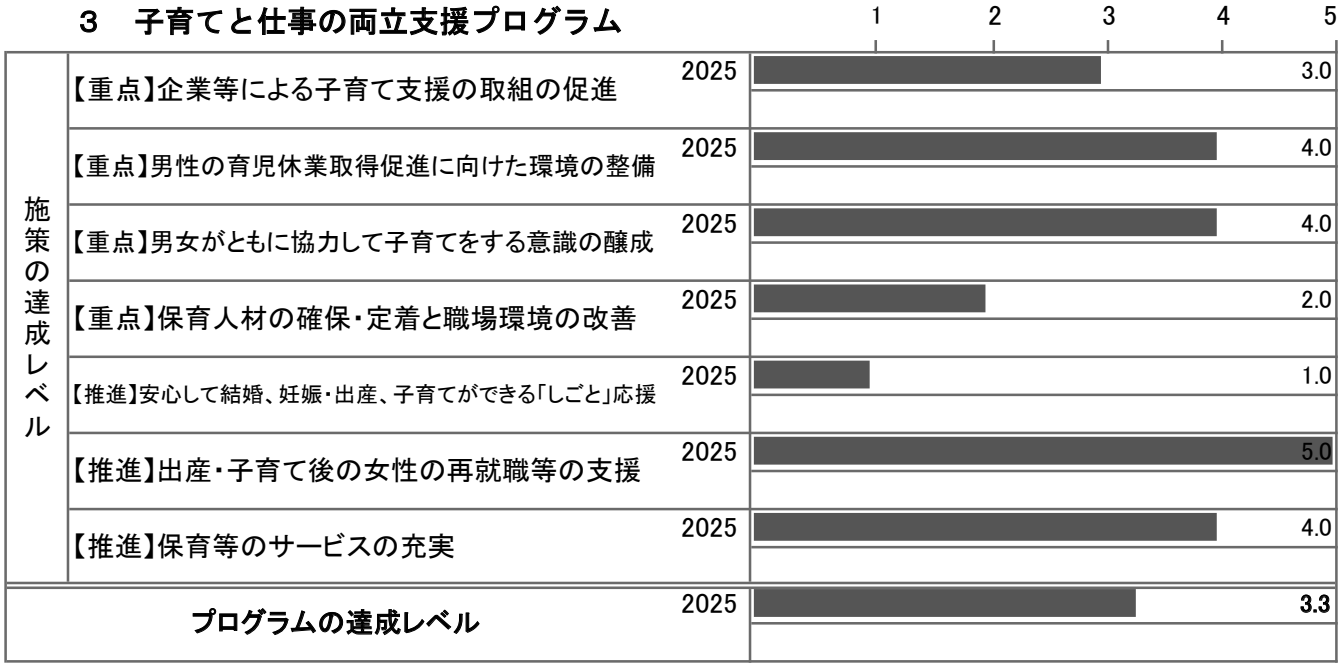


※施策の達成レベル、戦略プログラムの達成レベルの考え方は2ページに記載

２　妊娠・出産・子育て支援プログラム

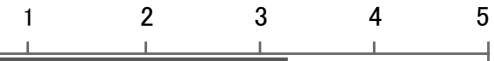


３　子育てと仕事の両立支援プログラム



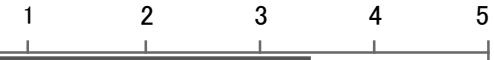
Ⅱ　夢を育む教育県岡山の推進

１　学ぶ力育成プログラム



施策の達成レベル	【重点】教師の授業力の向上	2025	3.3
	【重点】PBL（課題解決型学習）の推進	2025	3.0
	【重点】キャリア教育の推進	2025	3.5
	【重点】子どもたちの学ぶ力が伸びる仕組みづくり	2025	3.0
	【重点】情報活用能力の育成	2025	3.0
	【推進】就学前教育の質の向上	2025	4.0
	【推進】高等学校における学力の向上	2025	2.0
プログラムの達成レベル		2025	**3.1**

２　徳育・体育推進プログラム



施策の達成レベル	【重点】道徳教育の推進	2025	3.5
	【重点】暴力行為等への対策の推進	2025	※ -
	【重点】より良い社会づくりに参画する人材の育成	2025	3.0
	【重点】子どもたちの体力の向上	2025	3.8
	【推進】子どもたちの健康の保持増進	2025	3.0
	【推進】人権教育の推進	2025	3.0
プログラムの達成レベル		2025	**3.3**

※達成度による測定ができないため評価対象外とする。

３　多様な教育ニーズ支援プログラム

施策の達成レベル	【重点】魅力ある学校づくりの推進	2025	3.8
	【重点】「チーム学校」による不登校等の早期支援	2025	※ -
	【重点】不登校児童生徒等の学びの場の確保	2025	※ -
	【重点】地域住民の参画による学校運営協議会・地域学校協働活動の取組の推進	2025	4.0
	【推進】家庭教育支援チーム等による家庭・地域の教育力の向上	2025	5.0
	【推進】特別支援教育の充実	2025	3.0
プログラムの達成レベル		2025	**4.0**

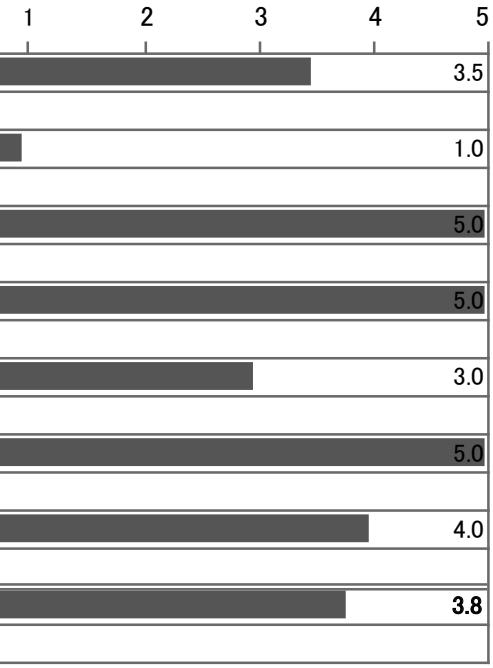
※達成度による測定ができないため評価対象外とする。

４　グローバル人材育成プログラム

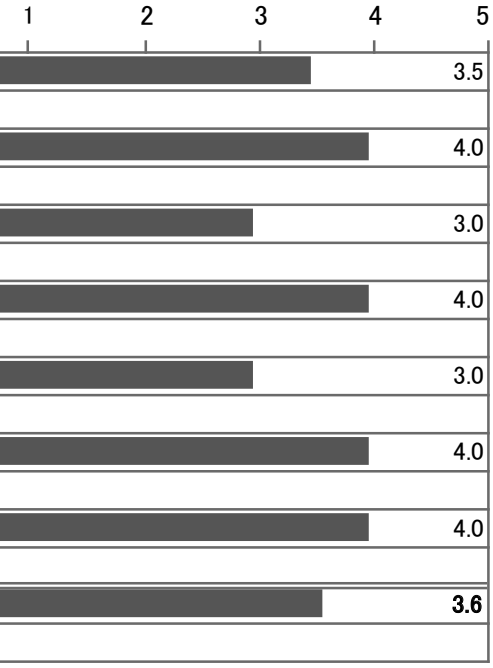
施策の達成レベル	【重点】国際的に活躍できる人材の育成	2025	3.0
	【重点】探究・STEAM教育の推進	2025	4.0
	【推進】高校生の国際交流推進	2025	4.0
	【推進】高等教育機関における実践的な人材育成等の推進	2025	3.0
プログラムの達成レベル		2025	**3.5**

Ⅲ　地域を支える産業の振興

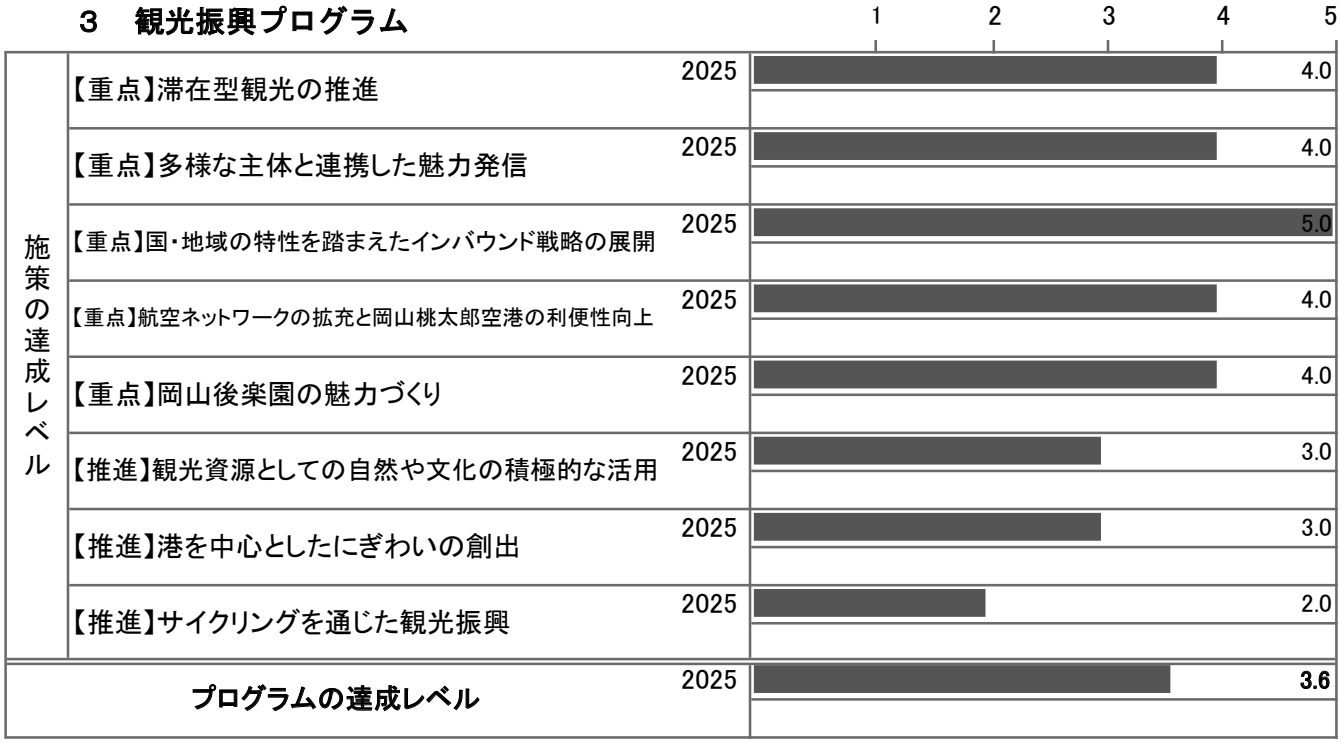
1　企業誘致・投資促進プログラム



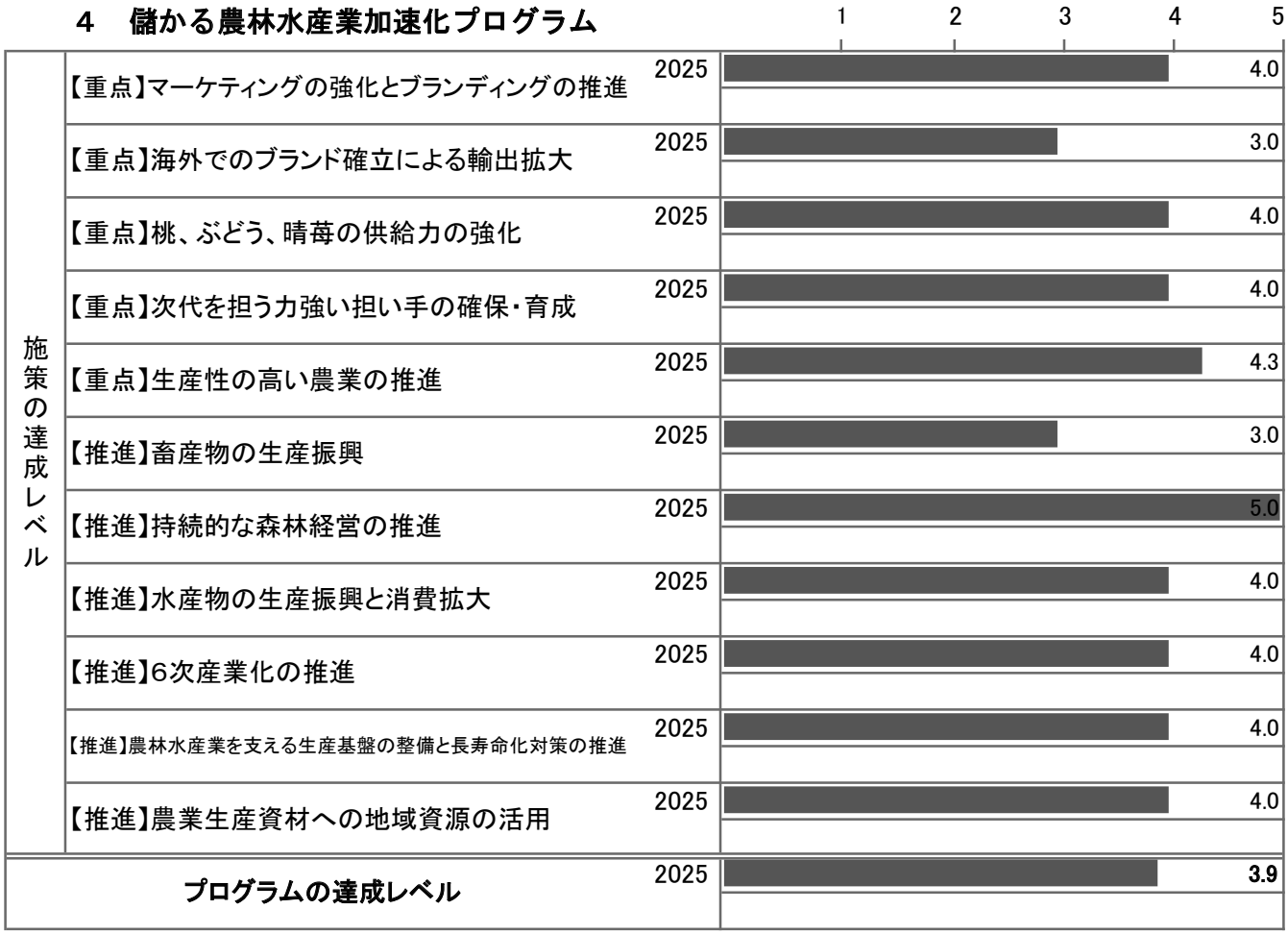
2　企業の「稼ぐ力」強化プログラム



3　観光振興プログラム



4　儲かる農林水産業加速化プログラム

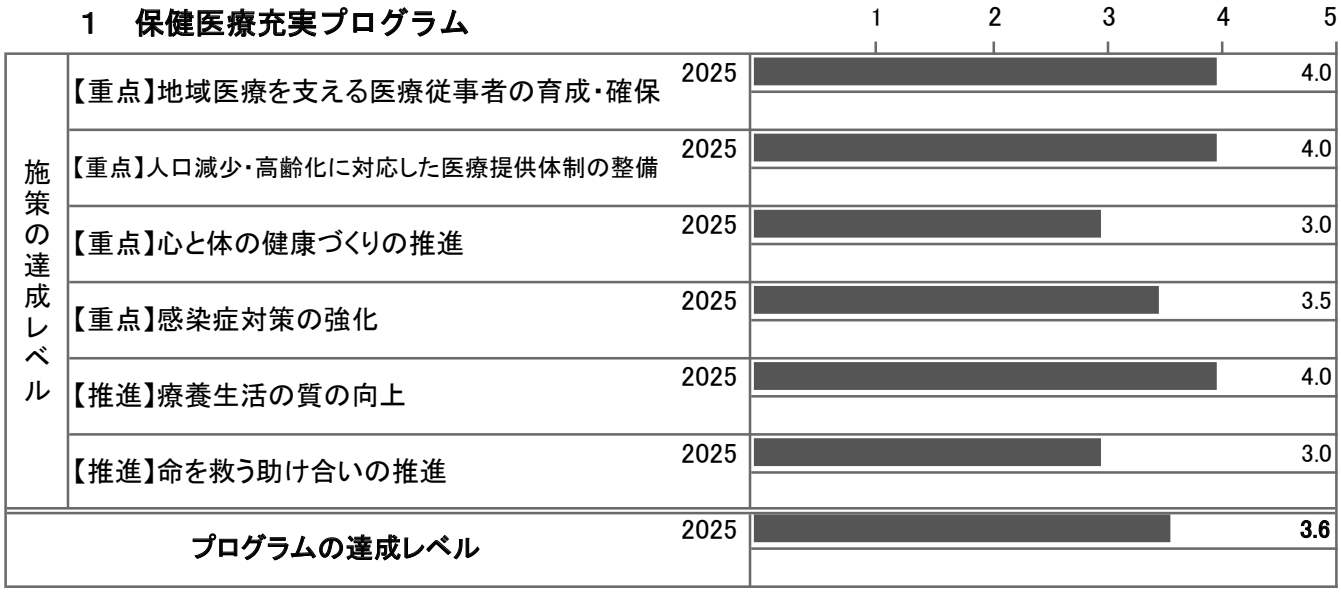


５　働く人応援プログラム

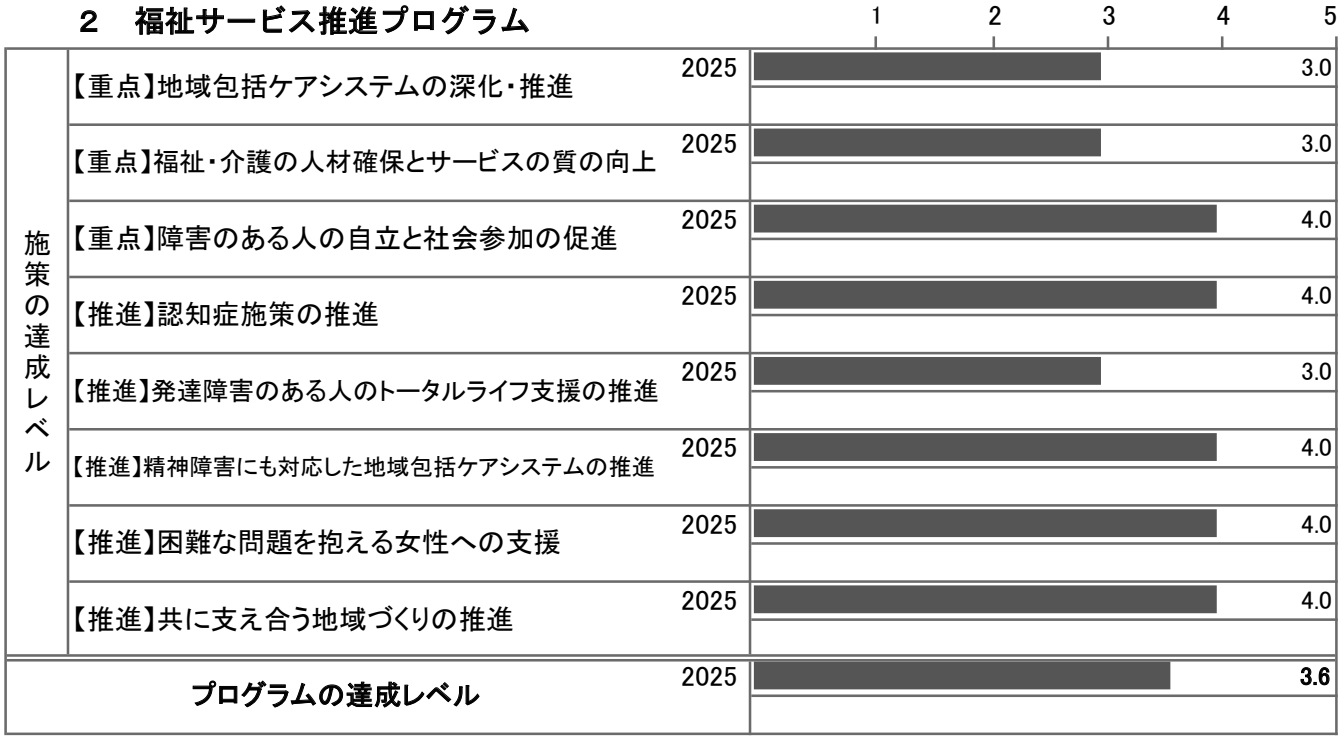
施策の達成レベル	【重点】若者の県内定着を進める就職支援	2025	3.0
	【重点】県内企業の発展を担う人材の還流・定着の支援	2025	3.0
	【重点】意欲や能力に応じて活躍できる働き方の推進	2025	3.0
	【重点】男女の均等な雇用機会等の確保と女性の活躍推進	2025	3.0
	【重点】外国人材の活躍支援	2025	4.0
	【重点】高年齢者の就業支援	2025	4.0
	【推進】障害のある人の就労支援	2025	3.0
プログラムの達成レベル		2025	**3.3**

Ⅳ　安心で豊かさが実感できる地域の創造

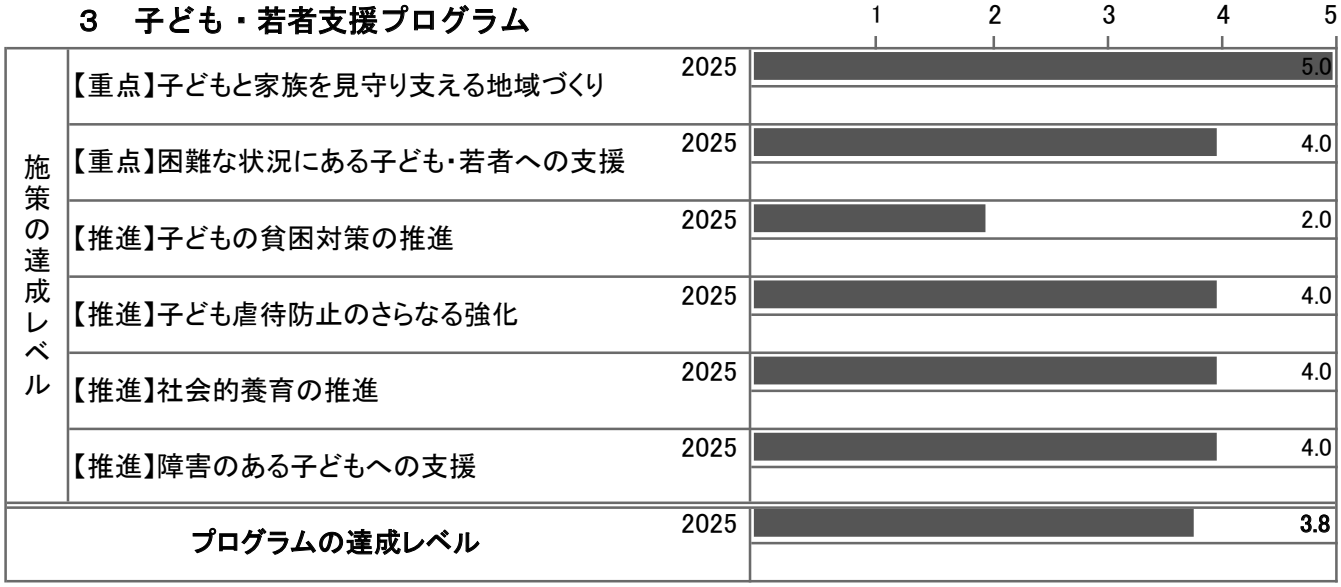
1　保健医療充実プログラム



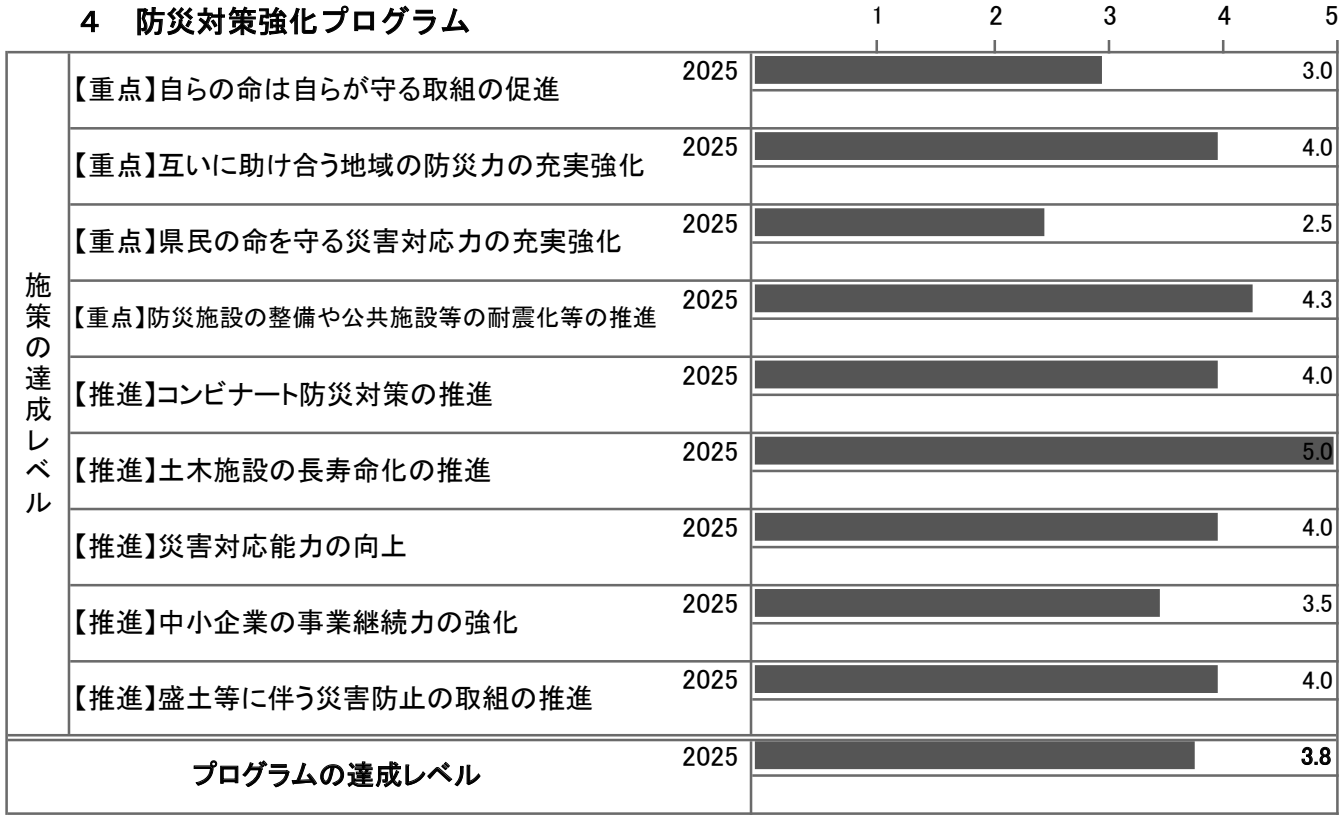
2　福祉サービス推進プログラム



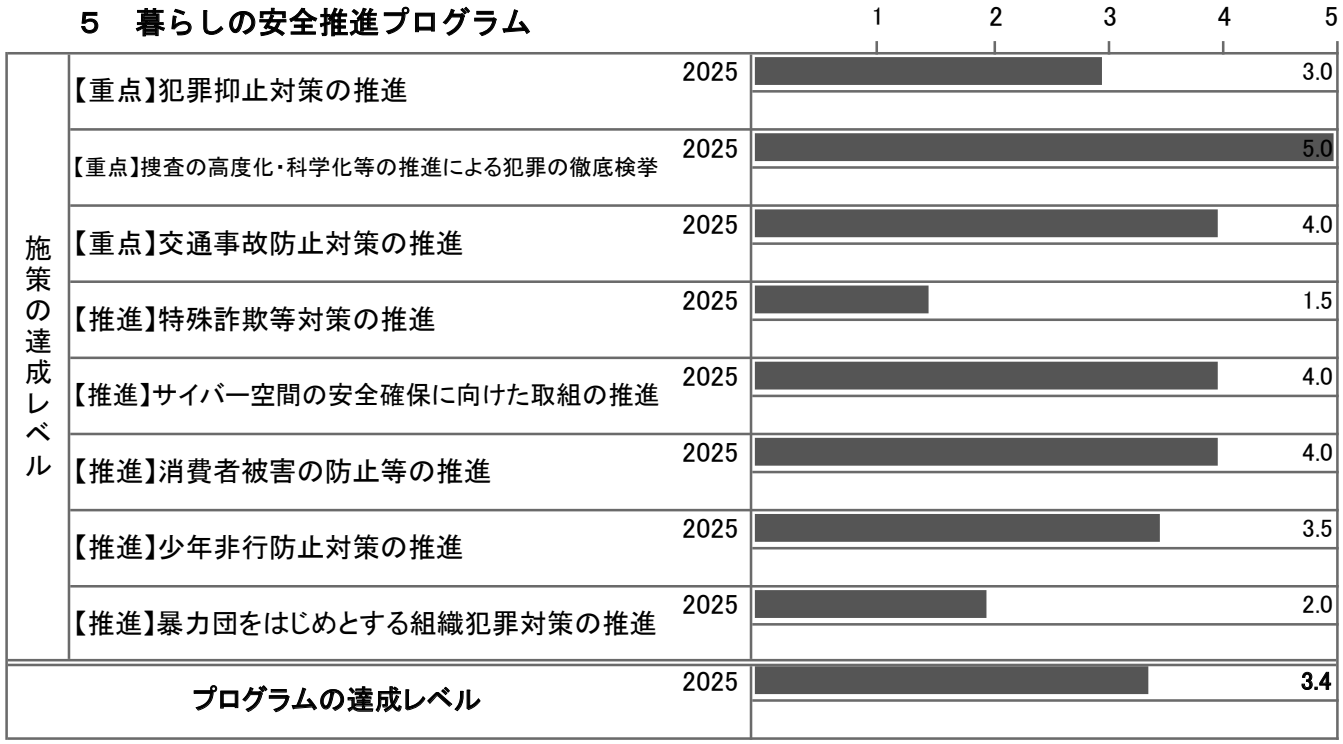
3　子ども・若者支援プログラム



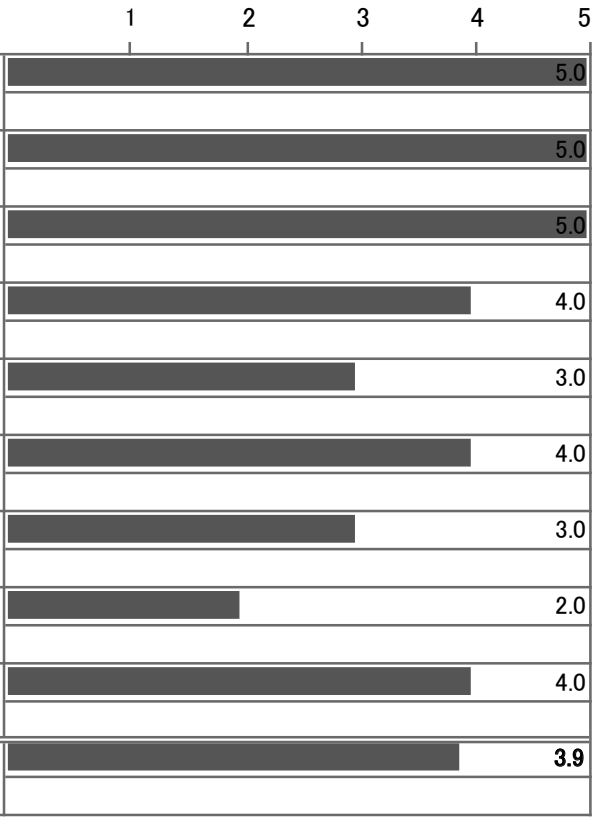
４　防災対策強化プログラム



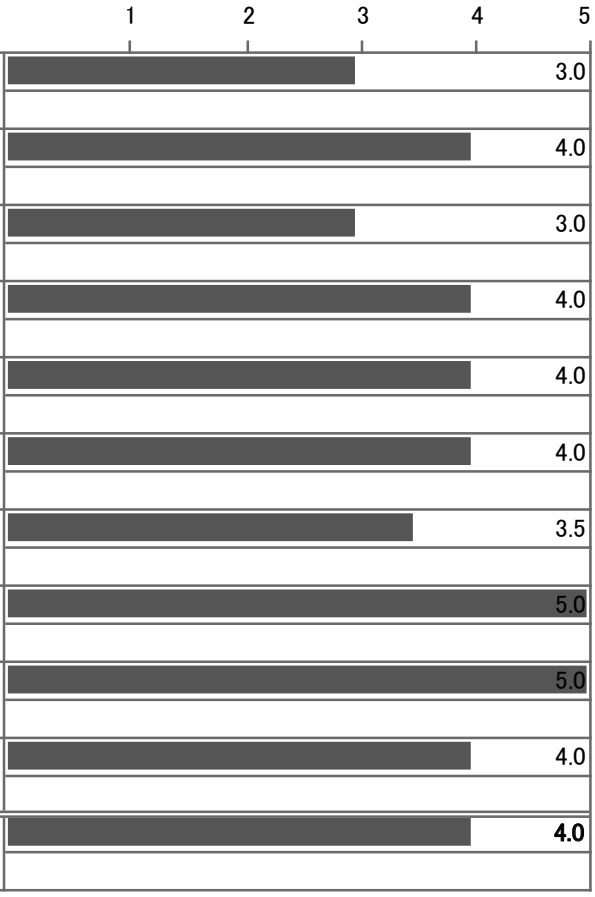
５　暮らしの安全推進プログラム



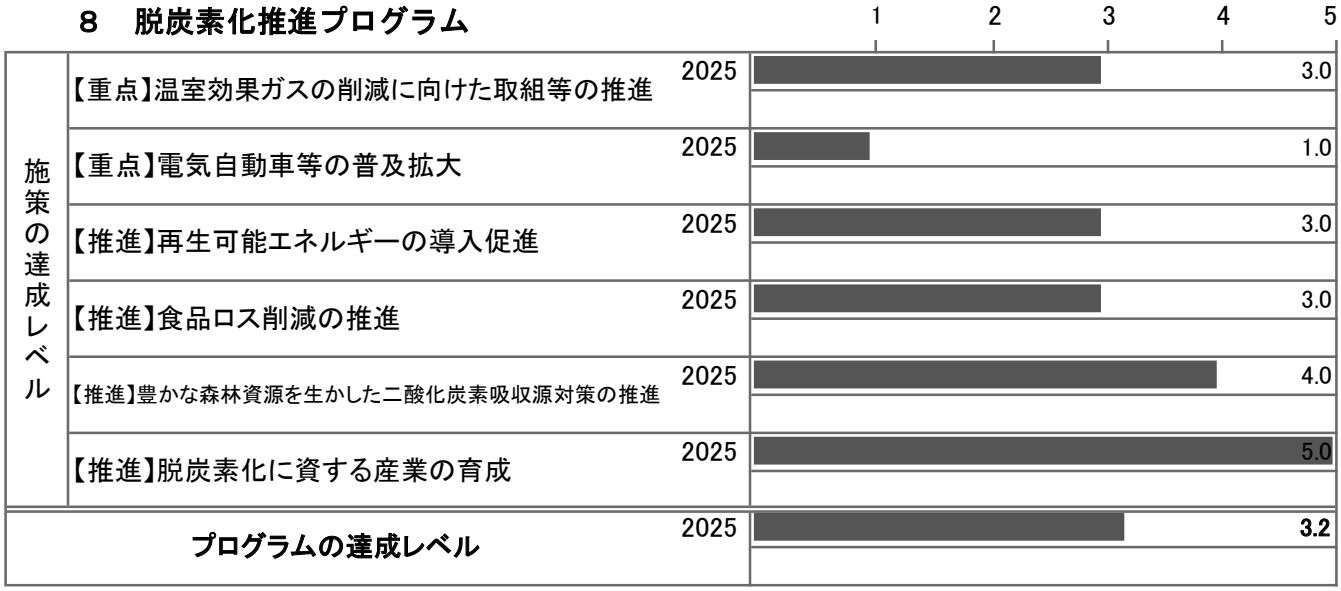
６　持続可能な中山間地域等形成プログラム



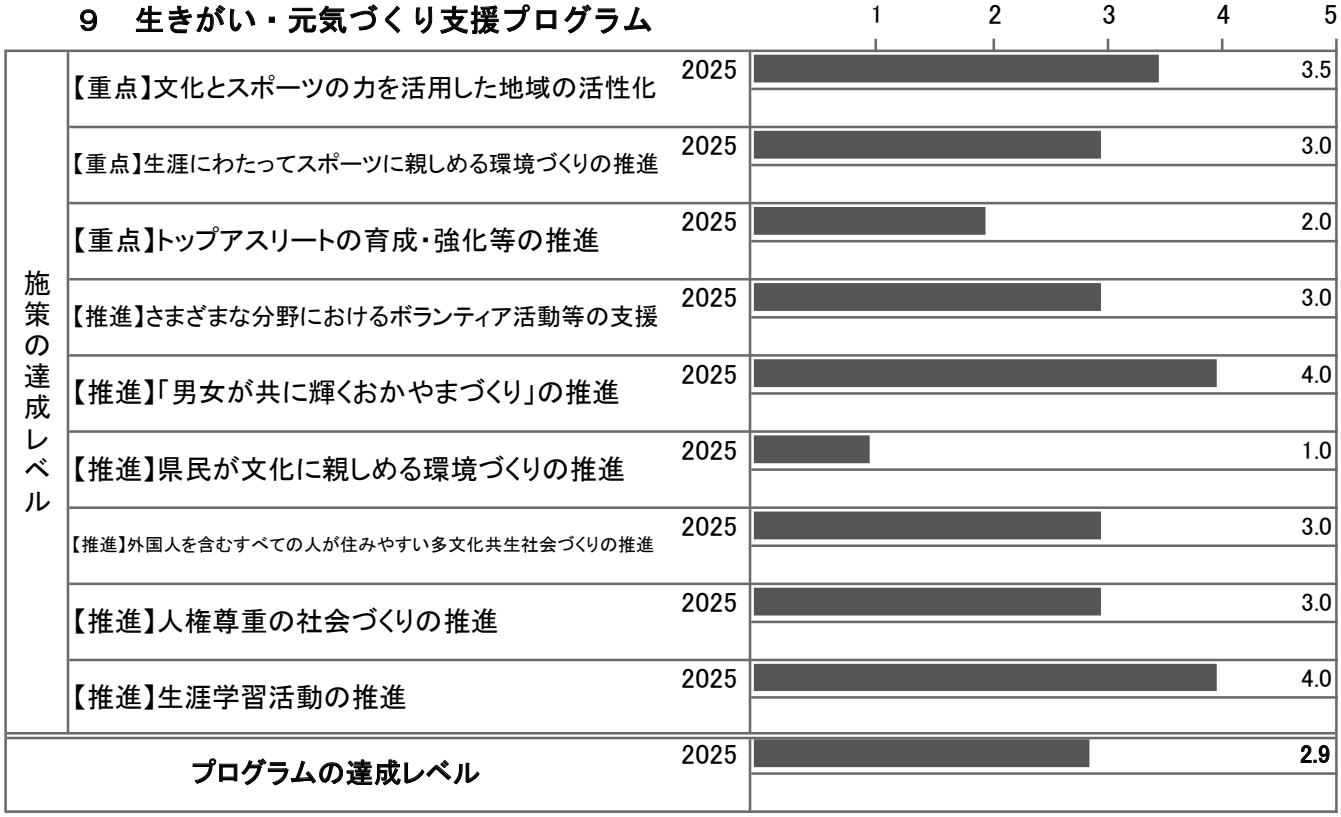
７　快適な環境保全プログラム



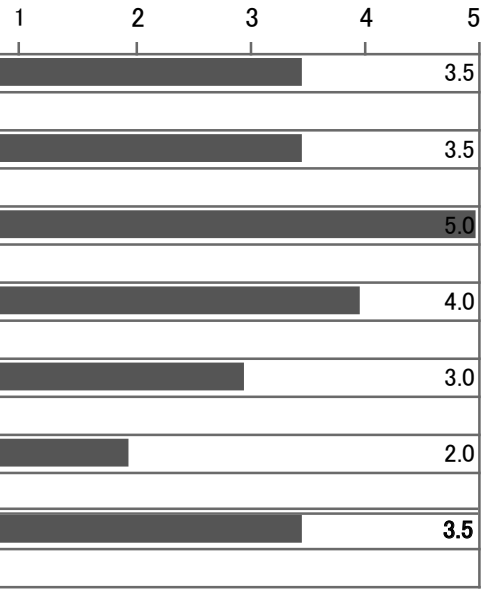
８　脱炭素化推進プログラム



９　生きがい・元気づくり支援プログラム



10　情報発信力強化プログラム



政策コード	101
担当部局	子ども・福祉部

1　政策の概要

重点戦略	Ⅰ　結婚・子育ての希望がかなう社会の実現
プログラム	出会い・結婚応援プログラム
プログラムの概要	個人の自由な選択を尊重しながら、市町村や企業をはじめとする多様な主体と協働し、若い世代の出会い・結婚の希望がかなう環境づくりを推進します。

2　施策の達成レベル

施　策　名		対応する指標	2025	2026	2027	2028
10101	【重点】社会全体で出会い・結婚を応援する気運の醸成	1	3.0			
10102	【重点】結婚の希望をかなえる環境の整備	2	4.0			
10103	【推進】結婚への関心の後押し	3	4.0			
10104	【推進】結婚生活の応援	4	5.0			
		プログラムの達成レベル	**4.0**			

3　総合評価

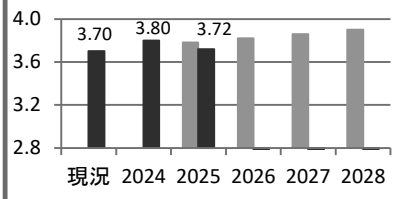
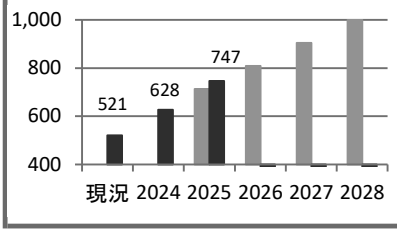
・おかやま縁むすびネットでの戦略的な広報や登録無料キャンペーンの展開により、会員登録数は堅調に推移しており、マッチングシステムの利便性向上や、結婚支援ボランティアによるサポート等により、おかやま出会い・結婚サポートセンターが関わった成婚数は目標値を達成したものの、婚姻率については、目標値を0.06ポイント下回った。学生等の若い世代が自らが希望する将来設計を考えられるよう、子育て中の方とのワークショップ等を取り入れたライフデザイン講座を開催し、受講者数の目標達成につながった。結婚応援パスポートのさらなる普及に向け、レジャー施設やレストランなどへの案内送付や、ＳＮＳでのＰＲ等により、新規協賛店数は目標値を大幅に上回った。

2025	2026	2027	2028
4.0			

4　今後の政策推進に向けての課題

・インターネット広告をはじめとするあらゆる媒体を活用した戦略的な広報に加え、縁むすび応援企業制度等の企業と連携した取組により、県民及び結婚希望者に対し「おかやま縁むすびネット」や「結婚応援パスポート」等の県の結婚支援の取組を周知するとともに、結婚に向けたポジティブなメッセージを発信し、結婚の希望の実現や結婚に関する気運の醸成を図っていく必要がある。
・市町村等とも連携しながら、若い世代が今後の人生を考えるきっかけにもなる同窓会の開催を後押しするとともに、企業や大学等と連携したライフデザイン講座を拡充することなどにより、若い世代の結婚や出産、子育てに対する前向きな意識の醸成を図っていく必要がある。

5　重点施策に係る生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ （左が目標値、右が実績値）	目標値等		年度別状況			
			2025	2026	2027	2028
1　婚姻率（人口１千人に対する婚姻件数の割合）  	現況値	目標値	3.78	3.82	3.86	3.90
	3.7	実績値	3.72			
	目標値	達成率(%)	98.4			
	3.9	達成度	3			
	指標の説明	人口１千人に対する婚姻件数の割合				
2　おかやま出会い・結婚サポートセンターが関わった成婚数  	現況値	目標値 増加数	713 〈192〉	809 〈288〉	905 〈384〉	1,000 〈479〉
	521組	実績値 増加数	747 〈226〉			
	目標値	達成率(%)	117.7			
	1,000組	達成度	4			
	指標の説明	おかやま出会い・結婚サポートセンターが行った支援をきっかけに成婚した数（達成率は現況値からの増加数で算出）				

6　推進施策に係る目標の進捗(達成)状況

名称	現況値	目標値	2025 目標値	2025 実績値	2025 達成度
3　若者向けライフデザイン講座の受講者数 ※1	1,423人	3,700人	2,343	2,488	4
4　結婚応援パスポート新規協賛店数	－	70店舗/年	70	134	5

※1　達成度は現況値からの増加数で算出

政策コード	102
担当部局	子ども・福祉部

1　政策の概要

重点戦略	Ⅰ　結婚・子育ての希望がかなう社会の実現
プログラム	妊娠・出産・子育て支援プログラム
プログラムの概要	妊娠・出産にかかる相談・医療体制等の整備や、地域ぐるみでの子育て家庭への支援など、各ステージに応じて切れ目ない支援を行います。また、市町村や企業、関係団体、地域の健康づくりボランティア等との連携により社会全体で子育てを応援する気運の醸成を図りながら、妊娠・出産や子育てへの不安感、負担感、孤立感の解消につなげ、誰もが安心して子育てできる環境づくりを目指します。

2　施策の達成レベル

施　策　名		対応する指標	2025	2026	2027	2028
10201	【重点】子育てにやさしい社会づくり	1、2	2.5			
10202	【重点】地域ぐるみの子育て支援	1、2	2.5			
10203	【重点】切れ目のない母子保健等の強化	3	3.0			
10204	【重点】妊娠・出産に関する正しい知識の普及と相談体制の充実	4	4.0			
10205	【推進】多子世帯への支援	5	4.0			
10206	【推進】子育ての実感や安心感を得る場の提供	6	1.0			
	プログラムの達成レベル		**2.8**			

3　総合評価

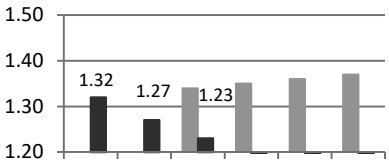
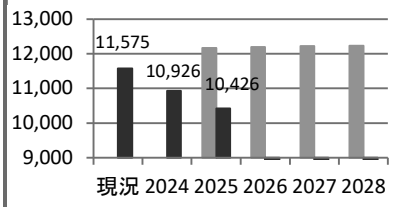
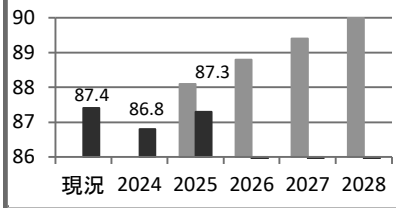
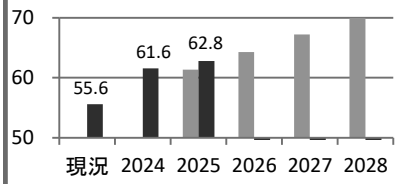
2025	2026	2027	2028
2.8			

・出前講座等による中高生への妊娠・出産の正しい知識の普及啓発や、子育て家庭を訪問し交流等を行う子育て家庭留学、産後ケア事業の利用促進や体制整備、不妊治療費助成を行う市町村への補助、不育症検査費への助成など、安心して妊娠・出産ができる環境づくりに取り組んだ。また、子育て支援として、ももっこカードアプリの利便性向上、子育てを応援する気運を醸成するための県民運動の実施のほか、少子化対策を進める市町村への伴走支援や子どもの意見聴取、放課後児童支援員の人材育成等に取り組んだ結果、妊娠と年齢の関係について正しく知っている県民の割合や出生数に占める第３子以降の割合は、目標達成に至ったものの、合計特殊出生率や出生数は、目標を下回る結果となった。

4　今後の政策推進に向けての課題

・妊娠や出産などの正しい知識を身に付け、プレコンセプションケアの理解が進むよう、若い世代を中心に様々な機会を通じて一層の普及啓発を図る必要がある。
・産後ケア事業の利用がさらに進むよう、利用しやすい体制整備を図るとともに、不妊治療費助成を行う市町村への補助、不育症検査費への助成を継続していく必要がある。
・企業や大学と連携した子育て家庭留学の拡充により、若い世代の結婚や子育てに対する前向きな意識の醸成を一層図るとともに、ももっこカードの認知度向上や協賛店登録拡大、こどもまんなかマナーアップ県民運動などにより、地域全体で子育てを温かく応援する気運を一層高める必要がある。
・少子化要因分析ツールを活用して、少子化対策に取り組む市町村を支援するほか、効果的な施策の横展開を図ることで、県全体としての少子化対策の底上げを図る必要がある。

5　重点施策に係る生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等	年度別状況				
			2025	2026	2027	2028
1　合計特殊出生率 	現況値	目標値	1.34	1.35	1.36	1.37
	1.32	実績値	1.23			
	目標値	達成率(%)	91.8			
	1.37	達成度	3			
	指標の説明	1人の女性がその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当したもの				
2　出生数 	現況値	目標値	12,166	12,191	12,215	12,238
	11,575人	実績値	10,426			
	目標値	達成率(%)	85.7			
	12,238人	達成度	2			
	指標の説明	岡山県内における日本人の出生数				
3　妊娠・出産について満足している母親の割合 	現況値	目標値	88.1	88.8	89.4	90.0
	87.4%	実績値	87.3			
	目標値	達成率(%)	99.1			
	90.0%	達成度	3			
	指標の説明	産後に助産師等から指導・ケアを十分に受けることができたと感じている者の割合(速報値)				
4　妊娠と年齢の関係について正しく知っている県民の割合 	現況値	目標値	61.4	64.3	67.2	70.0
	55.6%	実績値	62.8			
	目標値	達成率(%)	102.3			
	70.0%	達成度	4			
	指標の説明	県内大学生を対象とした調査結果				

6　推進施策に係る目標の進捗(達成)状況

名称	現況値	目標値	2025 目標値	2025 実績値	2025 達成度
5　出生数に占める第3子以降の割合	18.7%	19.7%	19.1	19.7	4
6　ももっこカードの新規協賛店数	96店舗/年	100店舗/年	100	60	1

政策コード	103
担当部局	子ども・福祉部

1　政策の概要

重点戦略	Ⅰ　結婚・子育ての希望がかなう社会の実現
プログラム	子育てと仕事の両立支援プログラム
プログラムの概要	市町村、企業、関係団体など多様な主体と協働し、企業による子育て支援の促進、男女が協力して子育てを行う気運の醸成等に取り組み、誰もが安心して子育てと仕事を両立できる環境づくりを推進します。 また、障害児や医療的ケア児等の受入れ、国の新たな制度導入など多様化する保育ニーズ等も踏まえながら、保育人材の確保を図ります。

2　施策の達成レベル

施策名		対応する指標	2025	2026	2027	2028
10301	【重点】企業等による子育て支援の取組の促進	1	3.0			
10302	【重点】男性の育児休業取得促進に向けた環境の整備	2	4.0			
10303	【重点】男女がともに協力して子育てをする意識の醸成	2	4.0			
10304	【重点】保育人材の確保・定着と職場環境の改善	3	2.0			
10305	【推進】安心して結婚、妊娠・出産、子育てができる「しごと」応援	4	1.0			
10306	【推進】出産・子育て後の女性の再就職等の支援	5	5.0			
10307	【推進】保育等のサービスの充実	6、7	4.0			
	プログラムの達成レベル		**3.3**			

3　総合評価

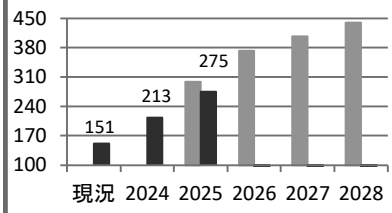
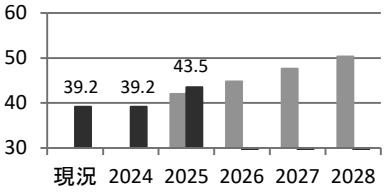
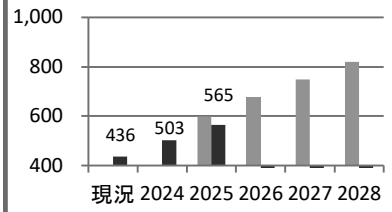
・企業による取組促進では、経営者向けのエリアセミナーの開催やポータルサイトによる優良事例等の情報発信、職場環境助成金の創設などに取り組み、従業員の仕事と家庭の両立支援に積極的な「アドバンス企業」の認定数は着実に増加しているものの、目標を下回る結果となった。
・男性の育児参画の意識改革を図るための応援BOOKの配布や講座の開催、企業等と連携した経営層の意識啓発など、男女がともに協力して子育てをする意識の醸成や男性の育児休業取得促進に向けた環境の整備に取り組み、「１４日以上の男性の育児休業取得率」は目標を達成した。
・保育人材の確保について、保育士・保育所支援センターが関わった保育所等への就職者数は、丁寧なマッチングに努めたものの、目標を下回る結果となった。

2025	2026	2027	2028
3.3			

4　今後の政策推進に向けての課題

・アドバンス企業は、経済団体等とも連携し、制度の周知等を図ることで、企業の認定を促進し、社会全体で子育てを応援する気運の醸成を図るとともに、男女ともに安心して子育てと仕事を両立できる職場環境づくりを進めていく必要がある。
・家事・育児に協力して取り組むきっかけとなるシェアシートを作成・配布するなど、引き続き効果的な広報活動等を実施し、共育てを推進するとともに、男女が社会の対等なパートナーとして、さまざまな活動に共に参画できるよう男女共同参画社会の基盤づくりに取り組む必要がある。
・保育士・保育所支援センターの登録者数を増やし、引き続き保育施設との丁寧なマッチングに取り組むとともに、新たに地域限定保育士制度を活用し、保育人材の確保に取り組む。また、セミナーの実施等により、保育士の離職防止にも取り組む必要がある。

5　重点施策に係る生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況			
			2025	2026	2027	2028
1　おかやま子育て応援宣言企業「アドバンス企業」認定数  	現況値 151社 目標値 440社	目標値 増加数	299 〈148〉	373 〈222〉	407 〈256〉	440 〈289〉
		実績値 増加数	275 〈124〉			
		達成率(%)	83.8			
		達成度	3			
	指標の説明	おかやま子育て応援宣言企業のうち、従業員の仕事と家庭の両立支援に特に積極的な「アドバンス企業」認定数(達成率は現況値からの増加数で算出)				
2　14日以上の男性の育児休業取得率  	現況値 39.2% 目標値 50.4%	目標値	42.0	44.8	47.6	50.4
		実績値	43.5			
		達成率(%)	103.6			
		達成度	4			
	指標の説明	県内事業所に勤務する男性労働者で、配偶者が出産した者のうち、育児休業取得期間が14日以上の者の割合				
3　保育士・保育所支援センターが関わった保育所等への就職者数  	現況値 436人 目標値 820人	目標値 増加数	598 〈162〉	679 〈243〉	748 〈312〉	820 〈384〉
		実績値 増加数	565 〈129〉			
		達成率(%)	79.6			
		達成度	2			
	指標の説明	潜在保育士の就職支援、保育所等の潜在保育士活用支援等に取り組む「保育士・保育所支援センター」が関わった保育所等への就職者数(達成率は現況値からの増加数で算出)				

6　推進施策に係る目標の進捗(達成)状況

名称	現況値	目標値	2025 目標値	2025 実績値	2025 達成度
4　おかやま若者再チャレンジ応援宣言企業数 ※1	26社/年	140社	35	14	1
5　ウィズセンターで実施する女性活躍講座・再就職支援講座の参加者数	145人/年	450人/年	300	738	5
6　放課後児童クラブ実施箇所(支援の単位)数 ※2	698箇所	760箇所	722	735	5
7　子育て支援員育成数 ※2	1,469人	2,200人	1,775	1,760	3

※1　目標値は2025～2028年度の累計

※2　達成度は現況値からの増加数で算出

政策コード	201
担当部局	教育委員会

1　政策の概要

重点戦略	Ⅱ　夢を育む教育県岡山の推進
プログラム	学ぶ力育成プログラム
プログラムの概要	キャリア教育を一層推進するとともに、学校経営を支援し、一人ひとりの学習状況の的確な把握に基づく、授業改善に向けた取組の充実を図ります。また、ICTを効果的に活用しながら、子どもを主語にした主体的・対話的で深い学びを推進することにより、学力の確実な定着、創造性や協調性等の非認知能力の育成を図り、学ぶ力の育成につなげます。

2　施策の達成レベル

施　策　名		対応する指標	2025	2026	2027	2028
20101	【重点】教師の授業力の向上	1-①②､2-①②	3.3			
20102	【重点】PBL（課題解決型学習）の推進	1-①②､3-①②	3.0			
20103	【重点】キャリア教育の推進	1-①②､4	3.5			
20104	【重点】子どもたちの学ぶ力が伸びる仕組みづくり	1-①②､5-①②	3.0			
20105	【重点】情報活用能力の育成	1-①②､6-①②	3.0			
20106	【推進】就学前教育の質の向上	7	4.0			
20107	【推進】高等学校における学力の向上	8	2.0			
		プログラムの達成レベル	**3.1**			

3　総合評価

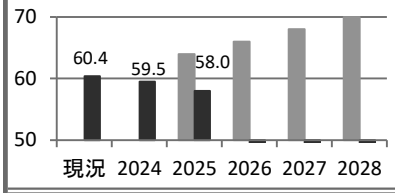
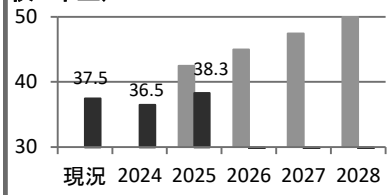
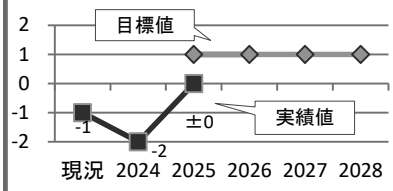
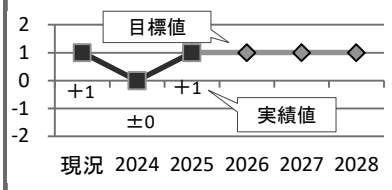
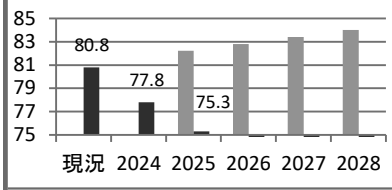
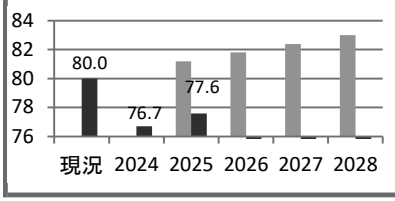
・前年度までの学力・学習状況調査結果の分析に基づく課題に焦点化した取組を行うとともに、教師業務アシスタント等の外部人材を活用し、教員の業務負担軽減に伴う学習指導時間の確保に努めることで、令和８年度調査の平均正答率の合計は、小学校では全国同水準と目標値には届かなかったものの、中学校においては全国平均を1ポイント上回り、目標値を達成することができた。
・「おかやま学びたい賞」フォーラムを開催したほか、新たに公立中学校の生徒会が自由な発想で行う自主的な企画による活動を支援するなど、児童生徒が自身の個性や創造力を伸ばす力の育成を図ったが、将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合は、目標値には届かなかった。高校段階では、経済６団体との包括連携協定の仕組みの活用やジョブフェア等の取組により、インターンシップや企業訪問等の機会の増加につながった。

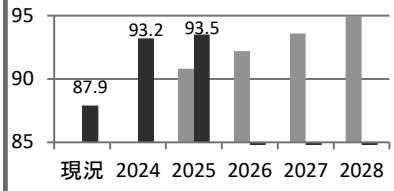
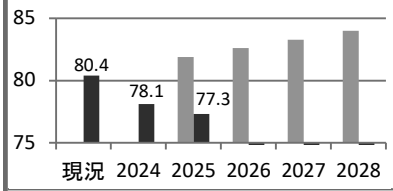
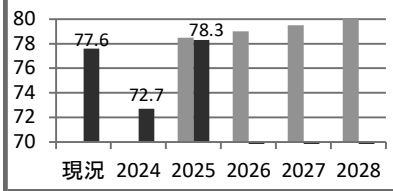
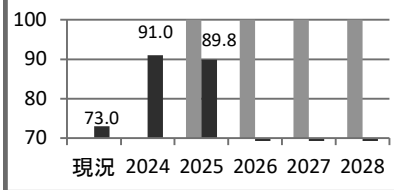
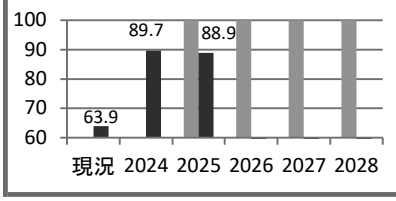
2025	2026	2027	2028
3.1			

4　今後の政策推進に向けての課題

・県学力・学習状況調査の実施時期の変更により年度内に把握・分析できるようになった成果と課題を活用し、つまずき解消に向けて短いサイクルでの授業改善に取り組むことで、児童生徒の学力向上に向けた取組を充実させる必要がある。
・夢を育む教育のさらなる推進に向け、学校と地域が連携した体系的なキャリア教育を進めるとともに、多様な探究活動を適切に評価し、主体的・探究的な学習の支援を充実させる必要がある。併せて、自ら考え決定する場面を積極的に創出し、課題解決に必要な資質・能力の育成を図る。
・高校における学力向上に向け、各校の学力分析や合同分析会による好事例の共有、指導主事の学校訪問を通じた1人1台端末の活用など、授業改善に引き続き取り組む必要がある。

5　重点施策に係る生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況			
			2025	2026	2027	2028
1-①「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合(小学校6年生) 	現況値	目標値	64.0	66.0	68.0	70.0
	60.4%	実績値	58.0			
	目標値	達成率(%)	90.6			
	70.0%	達成度	3			
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果				
1-②「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合(中学校3年生) 	現況値	目標値	42.5	45.0	47.5	50.0
	37.5%	実績値	38.3			
	目標値	達成率(%)	90.1			
	50.0%	達成度	3			
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果				
2-① 全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差(小学校6年生) 	現況値	目標値	+1	+1	+1	+1
	−1ポイント	実績値	±0			
	目標値	達成率(%)	-			
	+1ポイント	達成度	3			
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果(岡山県:117、全国平均:117)				
2-② 全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差(中学校3年生) 	現況値	目標値	+1	+1	+1	+1
	+1ポイント	実績値	+1			
	目標値	達成率(%)	-			
	+1ポイント	達成度	4			
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果(岡山県:122、全国平均:121)				
3-①「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童生徒の割合(小学校6年生) 	現況値	目標値	82.2	82.8	83.4	84.0
	80.8%	実績値	75.3			
	目標値	達成率(%)	91.6			
	84.0%	達成度	3			
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果				
3-②「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童生徒の割合(中学校3年生) 	現況値	目標値	81.2	81.8	82.4	83.0
	80.0%	実績値	77.6			
	目標値	達成率(%)	95.6			
	83.0%	達成度	3			
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果				

指標名・グラフ （左が目標値、右が実績値）	目標値等	年度別状況				
			2025	2026	2027	2028
4 インターンシップや企業訪問等を体験した高校生の割合 	現況値	目標値	90.8	92.2	93.6	95.0
	87.9%	実績値	93.5			
	目標値	達成率(%)	103.0			
	95.0%	達成度	4			
	指標の説明	高校3年間でインターンシップや企業訪問等を体験した高校生の割合（高校3年生）				
5-① 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげている」と回答した児童生徒の割合（小学校6年生） 	現況値	目標値	81.9	82.6	83.3	84.0
	80.4%	実績値	77.3			
	目標値	達成率(%)	94.4			
	84.0%	達成度	3			
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果				
5-② 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげている」と回答した児童生徒の割合（中学校3年生） 	現況値	目標値	78.5	79.0	79.5	80.0
	77.6%	実績値	78.3			
	目標値	達成率(%)	99.7			
	80.0%	達成度	3			
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果				
6-① 「1人1台端末を授業でほぼ毎日活用している」と回答した学校の割合（小学校） 	現況値	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0
	73.0%	実績値	89.8			
	目標値	達成率(%)	89.8			
	100.0%	達成度	3			
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果				
6-② 「1人1台端末を授業でほぼ毎日活用している」と回答した学校の割合（中学校） 	現況値	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0
	63.9%	実績値	88.9			
	目標値	達成率(%)	88.9			
	100.0%	達成度	3			
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果				

6 推進施策に係る目標の進捗(達成)状況

名称	現況値	目標値	2025 目標値	2025 実績値	2025 達成度
7 就学前教育に関する研修への延べ参加人数	2,583人	2,600人	2,600	2,616	4
8 学校の授業以外で平日に「全く又はほとんど学習しない」高校3年生の割合	12.2%	10.0%	11.5	19.8	2

政策コード	202
担当部局	教育委員会

1　政策の概要

重点戦略	Ⅱ　夢を育む教育県岡山の推進
プログラム	徳育・体育推進プログラム
プログラムの概要	道徳教育の充実等を通じて、道徳性や生まれ育った郷土への愛着や誇りを持った子どもたちを育成します。また、子どもたちが生涯にわたってたくましく生きるために必要な体力向上や健康づくりを推進します。

2　施策の達成レベル

施　策　名		対応する指標	2025	2026	2027	2028
20201	【重点】道徳教育の推進	1-①②	3.5			
20202	【重点】暴力行為等への対策の推進	2	-			
20203	【重点】より良い社会づくりに参画する人材の育成	3-①②③	3.0			
20204	【重点】子どもたちの体力の向上	4-①②③④	3.8			
20205	【推進】子どもたちの健康の保持増進	5-①②	3.0			
20206	【推進】人権教育の推進	6	3.0			
※20202は達成度による測定ができないため評価対象外		**プログラムの達成レベル**	**3.3**			

3　総合評価

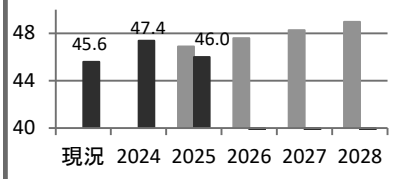
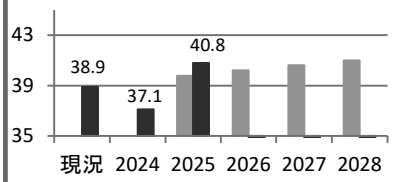
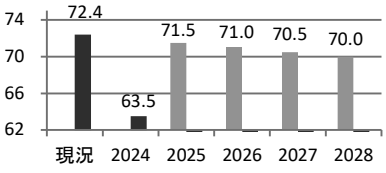
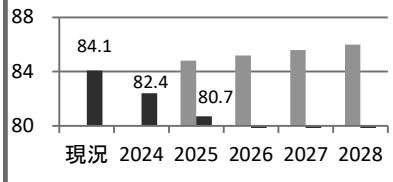
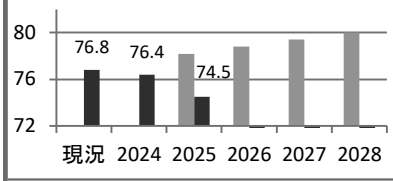
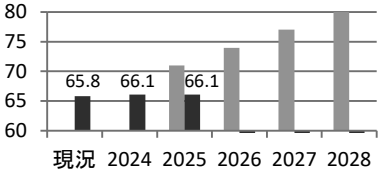
2025	2026	2027	2028
3.3			

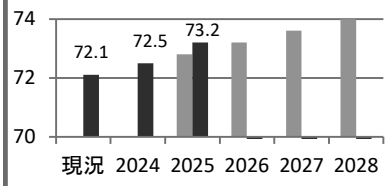
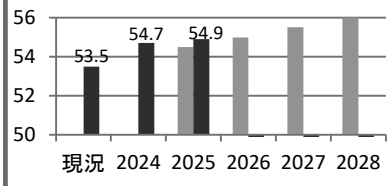
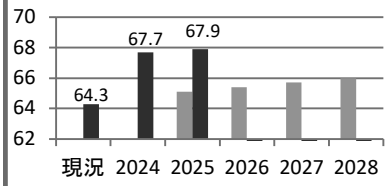
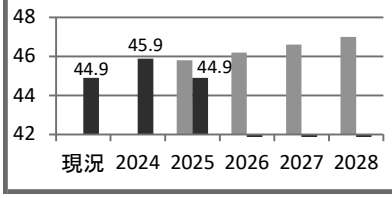
・道徳教育推進のための研修会の実施や郷土の偉人を題材とした授業パッケージの提供等、児童生徒の規範意識の向上や郷土への愛着、地元貢献意識を育む取組を推進したが、「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した児童生徒の割合は、中学校で目標値を達成した一方で小学校では目標値に届かなかった。
・いじめ対策基本方針に基づく対策の徹底や県警と連携した非行防止教室等の組織的な学校支援を行うなど、子どもたちが落ち着いて学習できる環境を整備した。
・楽しく魅力的な体育授業の実施や体育外での運動習慣化に向けた取組を展開したことにより、「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合が全校種で全国平均を上回り、中学校女子を除く校種で目標値を達成することができた。

4　今後の政策推進に向けての課題

・引き続き、作成した郷土資料の普及を推進し、児童生徒が道徳的価値への理解を深め、自らの考えに基づいた行動ができる心の育成を図る必要がある。
・児童生徒が地域に誇りと愛着を持ち、地域課題を自ら解決しようとする当事者意識や実践力を身に付けられるよう、発達段階に応じた地域と連携した教育活動を進め、児童生徒が地域で活躍できる場を創出する。
・児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、生涯にわたり、たくましく生きることができるよう、研修会の開催などにより栄養教諭の資質能力の向上を図るとともに、家庭や地域関係団体等と連携・協働し、食に関する指導の一層の充実を図る。

5　重点施策に係る生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況			
			2025	2026	2027	2028
1-① 「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した児童生徒の割合(小学校6年生) 	現況値	目標値	46.9	47.6	48.3	49.0
	45.6%	実績値	46.0			
	目標値	達成率(%)	98.1			
	49.0%	達成度	3			
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果				
1-② 「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した児童生徒の割合(中学校3年生) 	現況値	目標値	39.8	40.2	40.6	41.0
	38.9%	実績値	40.8			
	目標値	達成率(%)	102.5			
	41.0%	達成度	4			
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果				
2 小・中・高等学校における児童生徒1千人当たりの暴力行為発生件数の全国平均との比較値(全国平均を100とした場合の本県の比較値) 	現況値	目標値	71.5	71.0	70.5	70.0
	72.4	実績値	-			
	目標値	達成率(%)	-			
	70.0	達成度	-			
	指標の説明	児童生徒1千人当たりの暴力行為の発生割合 ※直近の2025年度実績が判明していないため、評価の対象外とする。				
3-① 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答した児童生徒の割合(小学校6年生) 	現況値	目標値	84.8	85.2	85.6	86.0
	84.1%	実績値	80.7			
	目標値	達成率(%)	95.2			
	86.0%	達成度	3			
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果				
3-② 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答した児童生徒の割合(中学校3年生) 	現況値	目標値	78.2	78.8	79.4	80.0
	76.8%	実績値	74.5			
	目標値	達成率(%)	95.3			
	80.0%	達成度	3			
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果				
3-③ 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答した生徒の割合(県立高校生) 	現況値	目標値	71.0	74.0	77.0	80.0
	65.8%	実績値	66.1			
	目標値	達成率(%)	93.1			
	80.0%	達成度	3			
	指標の説明	県独自調査(高校生活に関する意識調査)結果				

指標名・グラフ （左が目標値、右が実績値）	目標値等	年度別状況				
			2025	2026	2027	2028
4-①「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合（小学校5年生男子）  	現況値	目標値	72.8	73.2	73.6	74.0
	72.1%	実績値	73.2			
	目標値	達成率(%)	100.5			
	74.0%	達成度	4			
	指標の説明	小学校５年生(男子)を対象とした全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果				
4-②「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合（小学校5年生女子）  	現況値	目標値	54.5	55.0	55.5	56.0
	53.5%	実績値	54.9			
	目標値	達成率(%)	100.7			
	56.0%	達成度	4			
	指標の説明	小学校５年生(女子)を対象とした全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果				
4-③「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合（中学校2年生男子）  	現況値	目標値	65.1	65.4	65.7	66.0
	64.3%	実績値	67.9			
	目標値	達成率(%)	104.3			
	66.0%	達成度	4			
	指標の説明	中学校２年生(男子)を対象とした全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果				
4-④「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合（中学校2年生女子）  	現況値	目標値	45.8	46.2	46.6	47.0
	44.9%	実績値	44.9			
	目標値	達成率(%)	98.0			
	47.0%	達成度	3			
	指標の説明	中学校２年生(女子)を対象とした全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果				

6　推進施策に係る目標の進捗(達成)状況

名称	現況値	目標値	2025 目標値	2025 実績値	2025 達成度
5-①「朝ごはんを食べることは大切だ」と回答した児童生徒の割合（小学校）	88.1%	95.0%	90.8	87.8	3
5-②「朝ごはんを食べることは大切だ」と回答した児童生徒の割合（中学校）	86.6%	95.0%	90.0	86.4	3
6　地域において人権教育・啓発を推進するために養成する指導者の数（累計）※1	637人	762人	687	685	3

※1　達成度は現況値からの増加数で算出

政策コード	203
担当部局	教育委員会

1　政策の概要

重点戦略	Ⅱ　夢を育む教育県岡山の推進
プログラム	多様な教育ニーズ支援プログラム
プログラムの概要	地域のさまざまな資源や人材の活用を進め、子どもたち一人ひとりのニーズや状況に応じた教育を推進します。また、学校を、子どもたち誰もが通いたくなる魅力ある場所とするために、日々の授業や特別活動等の改善・充実に努めるとともに、支援が必要な子どもに対しては、専門家や関係機関との連携の下、「チーム学校」として早期対応を図ります。

2　施策の達成レベル

施　策　名		対応する指標	2025	2026	2027	2028
20301	【重点】魅力ある学校づくりの推進	1-①②、2	3.8			
20302	【重点】「チーム学校」による不登校等の早期支援	3	-			
20303	【重点】不登校児童生徒等の学びの場の確保	4	-			
20304	【重点】地域住民の参画による学校運営協議会・地域学校協働活動の取組の推進	5	4.0			
20305	【推進】家庭教育支援チーム等による家庭・地域の教育力の向上	6	5.0			
20306	【推進】特別支援教育の充実	7	3.0			
※20302、20303は達成度による測定ができないため評価対象外		**プログラムの達成レベル**	**4.0**			

3　総合評価

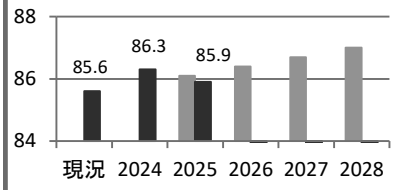
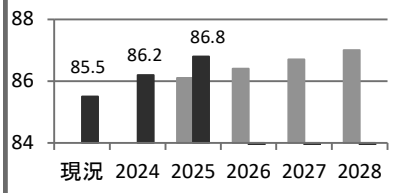
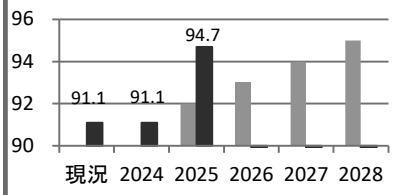
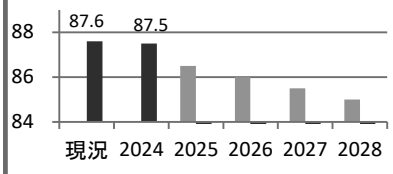
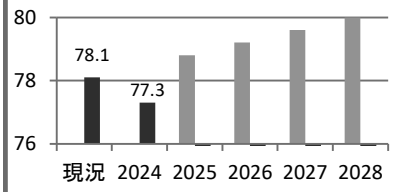
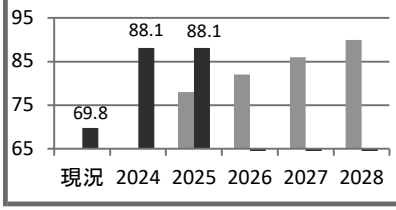
・中学生の自主的企画による当事者意識の育成や、高校コーディネーターの配置に伴う地域・外部人材との連携強化を通じて、地域の特色を活かした魅力ある教育活動を展開したことにより、「学校に行くのは楽しい」と回答した中学生の割合、高校生活に満足している生徒の割合については、目標値を達成することができた。
・長期欠席・不登校対策に係る支援員を活用した組織的な不登校対策や、自立応援室の取組を普及することで、設置校では長期欠席・不登校の児童生徒が教室復帰を果たすなどの成果が現れた。
・家庭教育支援チームについて、市町村に対し、関係機関との連携や様々な機会や場を活用して働きかけることで、目標値を上回る22市町村で設置することができた。

2025	2026	2027	2028
4.0			

4　今後の政策推進に向けての課題

・引き続き、魅力ある学校づくりの推進に向け、多様な体験等を通じた自己肯定感の醸成や教育活動の充実に努め、学校生活の満足度向上を図る必要がある。
・不登校児童生徒数は依然として高い水準にあることから、チーム学校による支援の充実のため、自立応援室の機能強化と県内への設置促進、効果的な支援の普及を図るとともに、多様な学びの場の充実を図る。
・特別支援教育の充実に向け、居住地校交流の好事例を基にした理解啓発動画を各種研修等で積極的に活用し、教職員への理解・啓発を促すなど、障害のある子どもと障害のない子どもが、地域社会の中で相互理解を深めるための交流及び共同学習の取組を充実させる必要がある。

5　重点施策に係る生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ （左が目標値、右が実績値）	目標値等		年度別状況			
			2025	2026	2027	2028
1-①「学校に行くのは楽しい」と回答した児童生徒の割合（小学校6年生） 	現況値	目標値	86.1	86.4	86.7	87.0
	85.6%	実績値	85.9			
	目標値	達成率(%)	99.8			
	87.0%	達成度	3			
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果				
1-②「学校に行くのは楽しい」と回答した児童生徒の割合（中学校3年生） 	現況値	目標値	86.1	86.4	86.7	87.0
	85.5%	実績値	86.8			
	目標値	達成率(%)	100.8			
	87.0%	達成度	4			
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果				
2　高校生活に満足している生徒の割合 	現況値	目標値	92.0	93.0	94.0	95.0
	91.1%	実績値	94.7			
	目標値	達成率(%)	102.9			
	95.0%	達成度	4			
	指標の説明	県独自調査（高校生活に関する意識調査）結果				
3　小・中・高等学校における児童生徒1千人当たりの新規不登校児童生徒数の全国平均との比較値（全国平均を100とした場合の本県の比較値） 	現況値	目標値	86.5	86.0	85.5	85.0
	87.6	実績値	-			
	目標値	達成率(%)	-			
	85.0	達成度	-			
	指標の説明	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果 ※直近の2025年度実績が判明していないため、評価の対象外とする。				
4　小・中・高等学校における不登校児童生徒のうち学校内外の専門機関等で相談・支援を受けた児童生徒の割合 	現況値	目標値	78.8	79.2	79.6	80.0
	78.1%	実績値	-			
	目標値	達成率(%)	-			
	80.0%	達成度	-			
	指標の説明	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果 ※直近の2025年度実績が判明していないため、評価の対象外とする。				
5　コミュニティ・スクールを導入している公立学校の割合 	現況値	目標値	78.0	82.0	86.0	90.0
	69.8%	実績値	88.1			
	目標値	達成率(%)	112.9			
	90.0%	達成度	4			
	指標の説明	地域と学校の連携・協働体制の実施・導入状況調査結果				

6　推進施策に係る目標の進捗(達成)状況

名称	現況値	目標値	2025 目標値	2025 実績値	2025 達成度
6　家庭教育支援チームを設置している市町村数 ※1	16市町村	26市町村	20	22	5
7　居住地校交流を実施した特別支援学校小学部児童の割合	51.0%	60.0%	54.0	52.7	3

※1　達成度は現況値からの増加数で算出

政策コード	204
担当部局	教育委員会

1　政策の概要

重点戦略	Ⅱ　夢を育む教育県岡山の推進
プログラム	グローバル人材育成プログラム
プログラムの概要	英語力の向上、高校生や大学生等の海外留学の促進、日本文化を学ぶ機会の充実等により、国際的に活躍できる人材を育成します。また、情報処理や地域課題解決の基盤となる能力を身に付ける教育の充実を図るなど、新しい時代の要請に応えられる人材の育成を進めます。

2　施策の達成レベル

施　策　名		対応する指標	2025	2026	2027	2028
20401	【重点】国際的に活躍できる人材の育成	1-①②③	3.0			
20402	【重点】探究・STEAM教育の推進	2	4.0			
20403	【推進】高校生の国際交流推進	3	4.0			
20404	【推進】高等教育機関における実践的な人材育成等の推進	4	3.0			
		プログラムの達成レベル	**3.5**			

3　総合評価

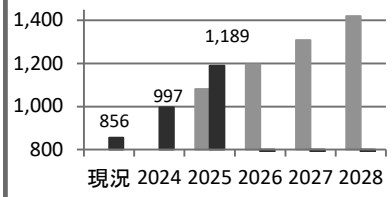
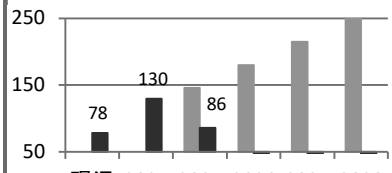
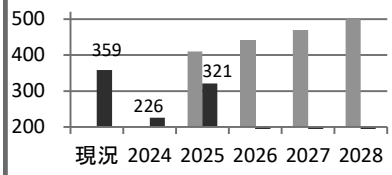
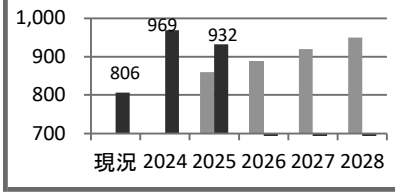
2025	2026	2027	2028
3.5			

・渡航費高騰等の影響を受けたものの、県立高校からの海外留学者数は前年度から大きく増加したが、目標には達しなかった。一方で、オンライン国際交流コーディネーターを活用し、高校生が海外の生徒や現地の日本企業で働く社会人、国内の外国人労働者等とオンラインでつながる機会を提供することで、生徒の国際感覚を養うことができた。
・生徒がチャレンジできる様々なコンテスト等の情報を分かりやすくホームページに集約して積極的に参加を働きかけ、生徒のチャレンジする機会の拡充を図ることで、コンテスト等への県立高校生の参加者数は目標値を上回る９３２人だった。

4　今後の政策推進に向けての課題

・留学生の受入促進やオンラインによる国際交流を引き続き推進し、海外留学への意欲を喚起する機会を設けるほか、義務教育段階から留学経験者との交流や留学プログラムの周知を図る。また、国際的なサミットに生徒を派遣し、その成果を次世代につなぐ仕組みを設けるなど、海外留学等を促進するためのさらなる機運の醸成を図る必要がある。
・子どもたちのチャレンジする機会をさらに拡充し、他者と協働しチームで問題を解決するといった能力等の育成に向け、子どもたちが活躍している様子を伝えたり、様々なコンテストの情報等にアクセスしやすくするよう開設した専用のWebサイトの内容をさらに充実させるとともに、様々な機会を通じて子どもたちがこのWebサイトを活用するよう働きかけを強める必要がある。

5 重点施策に係る生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況			
			2025	2026	2027	2028
1-① 県内大学等及び高校からの海外留学者数(大学等)  	現況値	目標値	1,082	1,195	1,308	1,420
	856人/年	実績値	1,189			
	目標値	達成率(%)	109.9			
	1,420人/年	達成度	4			
	指標の説明	県内大学等からの海外留学者数				
1-② 県内大学等及び高校からの海外留学者数(私立高校)  	現況値	目標値	146	180	215	250
	78人/年	実績値	86			
	目標値	達成率(%)	58.9			
	250人/年	達成度	2			
	指標の説明	私立高校からの海外留学者数				
1-③ 県内大学等及び高校からの海外留学者数(県立高校)  	現況値	目標値	410	440	470	500
	359人/年	実績値	321			
	目標値	達成率(%)	78.3			
	500人/年	達成度	2			
	指標の説明	県立高校からの海外留学者数				
2 全国規模の理数・情報・政策提案等のコンテストへの県立高校生の参加者数  	現況値	目標値	860	890	920	950
	806人/年	実績値	932			
	目標値	達成率(%)	108.4			
	950人/年	達成度	4			
	指標の説明	各種コンテストへの県立高校生の参加者数				

6 推進施策に係る目標の進捗(達成)状況

名称	現況値	目標値	2025 目標値	2025 実績値	2025 達成度
3 海外の人と交流した県立高校生の割合	31.4%	40.0%	32.0	37.4	4
4 県内の事業所に就職した学生の割合(県立大学)	48.5%	52.0%	49.3	48.4	3

政策コード	301
担当部局	産業労働部

1　政策の概要

重点戦略	Ⅲ　地域を支える産業の振興
プログラム	企業誘致・投資促進プログラム
プログラムの概要	企業ニーズに応じたきめ細かい支援や立地環境の整備を市町村と連携して進め、県内経済への波及効果が期待できる企業を幅広く誘致するとともに、水島コンビナートをはじめ本県経済を牽引する企業の県内拠点の維持・発展に向けた設備投資を一層促進します。

2　施策の達成レベル

施　策　名		対応する指標	2025	2026	2027	2028
30101	【重点】戦略的誘致施策の推進	1、2	3.5			
30102	【重点】企業ニーズに応じた産業用地の確保	3	1.0			
30103	【重点】県内への国内拠点設置の促進	1	5.0			
30104	【重点】水島コンビナートの国際競争力強化	4	5.0			
30105	【重点】水島港の機能強化	5	3.0			
30106	【重点】交通基盤整備	6	5.0			
30107	【推進】優れた操業環境の情報発信	7	4.0			
	プログラムの達成レベル		**3.8**			

3　総合評価

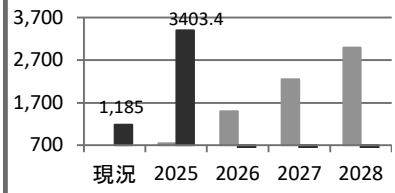
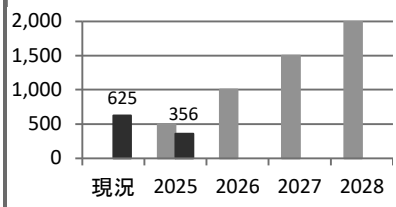
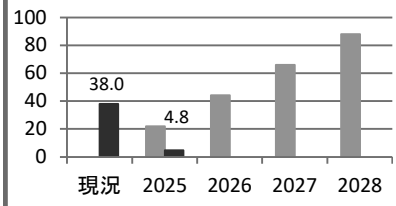
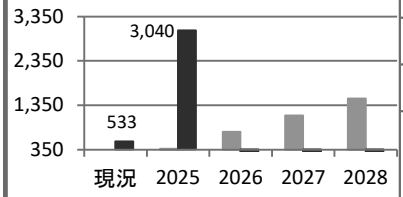
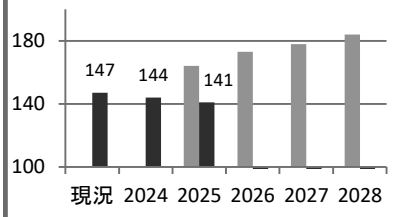
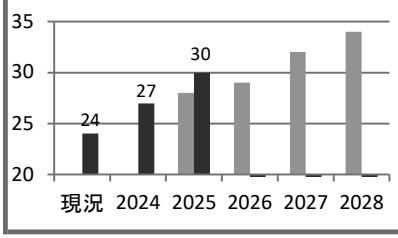
2025	2026	2027	2028
3.8			

・分譲可能な公的産業用地が減少する中、新たな企業を誘致する活動に加え、既立地企業が県内で事業を継続することができるよう再投資をサポートするなどのきめ細かな対応に努めた結果、投資額が大きく伸びるなど、一定の成果を上げることができた。

4　今後の政策推進に向けての課題

・分譲可能な公的産業用地が減少する中、企業ニーズに応じた産業用地の確保が課題となっている。
・市町村による産業用地開発へのさらなる支援や民有地情報の掘り起こしなどにより、提供可能な産業用地を確保するとともに、既立地企業の再投資等をサポートするアフターフォローを強化し、企業ニーズに対応していく必要がある。

5　重点施策に係る生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ （左が目標値、右が実績値）	目標値等	年度別状況				
			2025	2026	2027	2028
1　新規立地企業等の投資額 	現況値	目標値	750	1,500	2,250	3,000
	1,185億円/年	実績値	3,403.4			
	目標値	達成率(%)	453.8			
	3,000億円	達成度	5			
	指標の説明	新規立地企業等の投資額（目標値は2025～2028年度の累計）				
2　新規立地企業等の雇用創出数 	現況値	目標値	500	1,000	1,500	2,000
	625人/年	実績値	356			
	目標値	達成率(%)	71.2			
	2,000人	達成度	2			
	指標の説明	新規立地企業等の雇用創出数（目標値は2025～2028年度の累計）				
3　新規立地企業等の敷地面積 	現況値	目標値	22.0	44.0	66.0	88.0
	38.0ha/年	実績値	4.8			
	目標値	達成率(%)	21.8			
	88.0ha	達成度	1			
	指標の説明	新規立地企業等の敷地面積（目標値は2025～2028年度の累計）				
4　水島工業地帯における新規立地企業等の投資額 	現況値	目標値	375	750	1,125	1,500
	533億円/年	実績値	3,040			
	目標値	達成率(%)	810.7			
	1,500億円	達成度	5			
	指標の説明	水島工業地帯における新規立地企業等の投資額（目標値は2025～2028年度の累計）				
5　水島港における国際コンテナ取扱個数 	現況値	目標値	164	173	178	184
	147千TEU/年	実績値	141			
	目標値	達成率(%)	86.0			
	184千TEU/年	達成度	3			
	指標の説明	水島港における外貿コンテナ取扱個数と国際フィーダー取扱個数の合計（速報値）				
6　主要渋滞箇所における対策実施箇所数 	現況値	目標値	28	29	32	34
		増加数	〈4〉	〈5〉	〈8〉	〈10〉
	24箇所	実績値	30			
		増加数	〈6〉			
	目標値	達成率(%)	150.0			
	34箇所	達成度	5			
	指標の説明	主要渋滞箇所における対策実施箇所数（達成率は現況値からの増加数で算出）				

6　推進施策に係る目標の進捗(達成)状況

名称	現況値	目標値	2025 目標値	2025 実績値	2025 達成度
7　誘致活動対象企業数　※1	989件/年	4,000件	1,000	1,127	4

※1　目標値は2025～2028年度の累計

政策コード	302
担当部局	産業労働部

1　政策の概要

重点戦略	Ⅲ　地域を支える産業の振興
プログラム	企業の「稼ぐ力」強化プログラム
プログラムの概要	経営革新をはじめとする生産性向上の取組や、首都圏や海外への販路開拓、企業を支える産業人材の育成・確保等を支援するとともに、大学等の知を活用しながら今後成長が期待されるグリーン成長分野の研究開発等を支援し、企業の持続的な成長・発展を推進します。併せて、事業承継を契機とした新たな事業展開等の支援に加え、DXやGXへの動きにもしっかりと対応しながら、県内企業の「稼ぐ力」の強化を図ります。

2　施策の達成レベル

施　策　名		対応する指標	2025	2026	2027	2028
30201	【重点】企業の持続的な成長・発展支援	1、2	3.5			
30202	【重点】時代の変化に対応するイノベーションの推進	3	4.0			
30203	【重点】地域特性を生かしたマーケティング戦略の展開	4	3.0			
30204	【重点】地域に活力をもたらす新ビジネスの創出支援	5	4.0			
30205	【重点】企業を支える産業人材の育成・確保	6	3.0			
30206	【推進】地域産業の活性化	7	4.0			
30207	【推進】先端技術による地域産業の強化・支援	8	4.0			
	プログラムの達成レベル		**3.6**			

3　総合評価

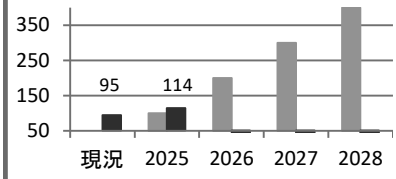
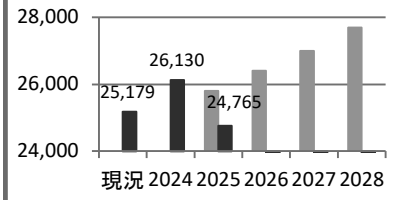
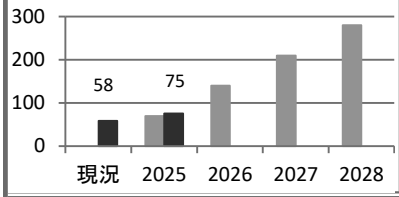
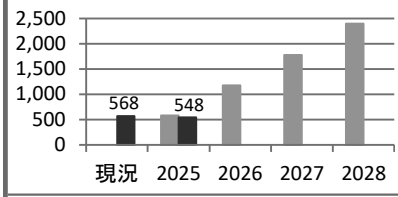
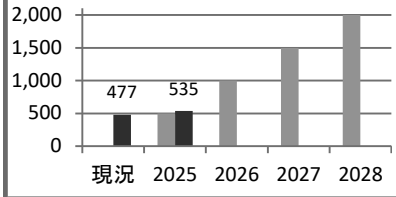
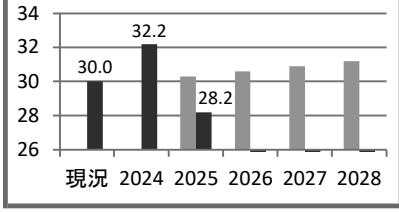
・支援機関と連携して、経営革新計画に取り組む企業を掘り起こし、相談窓口の設置や専門家派遣、デジタル化促進のためのセミナー等を実施するなど企業の生産性向上や競争力強化を支援した。
・県産品の国内外における商談機会の創出や展示会出展、プロモーション活動等による販路開拓支援を通じて、事業者の販路拡大につなげた。
・最新の技術情報の提供や、専属のコーディネーターによる伴走支援を通じてグリーン成長分野の新技術・新製品の研究開発支援を行った。

2025	2026	2027	2028
3.6			

4　今後の政策推進に向けての課題

・経営革新計画内容のブラッシュアップや計画承認企業の計画目標達成に向けたきめ細かい支援を行い、企業の経営安定と競争力強化を図る。
・引き続き、全国的な取引拡大につながる首都圏等での販路開拓支援と、展示会への出展やバイヤー招聘など、海外販路拡大に向けた取組の推進が必要である。
・グリーン成長分野では、次々に新技術が生まれており、その市場動向も日々変化していることから、県内企業に対し、最新動向について情報提供するとともに分野別コンソーシアムを中心に県の強みを生かした重点支援を進める必要がある。

5　重点施策に係る生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況			
			2025	2026	2027	2028
1　経営革新に取り組む中小企業・小規模事業者数  	現況値	目標値	100	200	300	400
	95者/年	実績値	114			
	目標値	達成率(%)	114.0			
	400者	達成度	4			
	指標の説明	中小企業等経営強化法に基づき、新事業を行い経営の向上を図ること等を目的とした経営革新計画を作成した中小企業・小規模事業者の数(目標値は2025～2028年度の累計)				
2　従業員1人当たり売上高(生産性向上指標)  	現況値	目標値	25,800	26,400	27,000	27,700
	25,179千円/年	実績値	24,765			
	目標値	達成率(%)	96.0			
	27,700千円/年	達成度	3			
	指標の説明	企業活動基本調査に基づく県内企業の売上高を従業者数で除した額 ※直近の公表値(2024年実績)により評価する。				
3　企業と大学との共同研究センターにおける産学連携等に向けたマッチング支援件数  	現況値	目標値	70	140	210	280
	58件/年	実績値	75			
	目標値	達成率(%)	107.1			
	280件	達成度	4			
	指標の説明	企業と大学との共同研究センターを通じて、大学等との共同研究に向けて、マッチング支援を行った件数(目標値は2025～2028年度の累計)				
4　あっせん・サポート等による取引成立件数  	現況値	目標値	581	1,174	1,780	2,400
	568件/年	実績値	548			
	目標値	達成率(%)	94.3			
	2,400件	達成度	3			
	指標の説明	(公財)岡山県産業振興財団、岡山県中小企業団体中央会等が県内の受注希望企業に取引のあっせん・サポートを行い、成約に至った件数(目標値は2025～2028年度の累計)				
5　県等の創業資金を活用した事業者数  	現況値	目標値	500	1,000	1,500	2,000
	477者/年	実績値	535			
	目標値	達成率(%)	107.0			
	2,000者	達成度	4			
	指標の説明	県等の創業資金を活用した事業者数(目標値は2025～2028年度の累計)				
6　県内大学工学系学生の県内就職率  	現況値	目標値	30.3	30.6	30.9	31.2
	30.0%	実績値	28.2			
	目標値	達成率(%)	93.1			
	31.2%	達成度	3			
	指標の説明	県内大学の工学系学部新卒者の就職者数に占める県内への就職者数の割合				

６　推進施策に係る目標の進捗(達成)状況

名称	現況値	目標値	2025 目標値	2025 実績値	2025 達成度
7　製造業の従業者１人当たりの付加価値額	12,108千円/年	13,000千円/年	12,331	12,602	4
8　工業技術センターが支援した県内企業数　※1	44件/年	180件	45	46	4

※1　目標値は2025～2028年度の累計

政策コード	303
担当部局	産業労働部

1　政策の概要

重点戦略	Ⅲ　地域を支える産業の振興
プログラム	観光振興プログラム
プログラムの概要	本県が旅行先として選ばれるよう、付加価値の高い体験型コンテンツや周遊プランの開発・改善、観光分野におけるDXに取り組み、再訪したくなる魅力ある観光地づくりを進めるとともに、ターゲットを意識した戦略的なプロモーションを展開します。また、インバウンドについては、海外PRデスクを置く市場を中心に、その特性に応じたプロモーションを展開するとともに、近隣県等との広域連携による誘客の強化や、県内事業者のインバウンド対応の支援に取り組みます。

2　施策の達成レベル

施　策　名		対応する指標	2025	2026	2027	2028
30301	【重点】滞在型観光の推進	1、2、3	4.0			
30302	【重点】多様な主体と連携した魅力発信	2	4.0			
30303	【重点】国・地域の特性を踏まえたインバウンド戦略の展開	4、5	5.0			
30304	【重点】航空ネットワークの拡充と岡山桃太郎空港の利便性向上	6	4.0			
30305	【重点】岡山後楽園の魅力づくり	7	4.0			
30306	【推進】観光資源としての自然や文化の積極的な活用	8、9	3.0			
30307	【推進】港を中心としたにぎわいの創出	10	3.0			
30308	【推進】サイクリングを通じた観光振興	11	2.0			
	プログラムの達成レベル		**3.6**			

3　総合評価

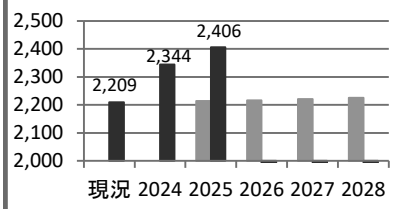
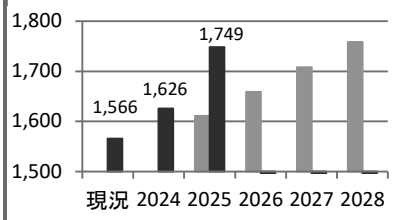
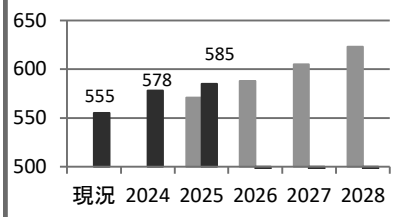
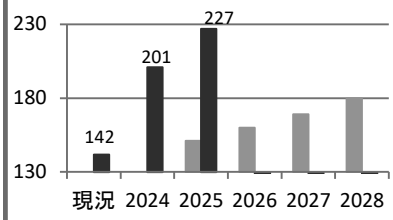
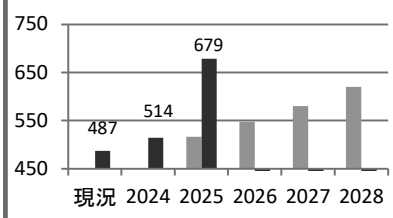
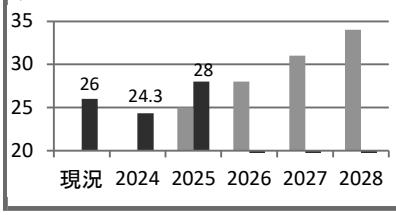
2025	2026	2027	2028
3.6			

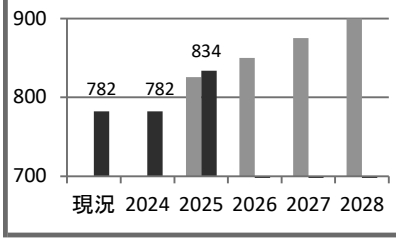
・「おかやまハレいろキャンペーン2025」の実施に加え、大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭2025との相乗効果もあり、2025年の観光消費額は2,406億円、観光入込客数は1,749万人、延べ宿泊者数は585万人となり、いずれも前年を上回り、過去最高を記録した。また、外国人延べ宿泊者数も、67万9千人となり、2007年の調査開始以降、過去最高となっており、観光需要は堅調に推移している。

4　今後の政策推進に向けての課題

・大阪・関西万博等を契機とした誘客拡大の流れを持続させ、その効果を県内全域に波及させていくため、観光キャンペーンの実施や高付加価値な滞在型観光コンテンツの造成・販売等に取り組み、岡山ならではの魅力を生かした企画を県内各地で展開することで、本県の認知度向上や宿泊客の増加を図る必要がある。また、インバウンドにおいては、ターゲット市場の動向に合わせたプロモーションや、高付加価値旅行者等の新たな潜在層アプローチ強化に取り組むなど戦略的に誘客促進を図る必要がある。
・令和９年秋に開催する「森の芸術祭　晴れの国・岡山」2027の開催に向けて、参加アーティストやアート作品設置会場を早期に選定することで、市町村や関係施設へ迅速に情報提供し、円滑に作品制作、会場運営を行う必要がある。また、広報資材を早期に作成し、事前のPRや周知を行うとともに、首都圏や海外からの誘客のための情報発信を強化する必要がある。

5　重点施策に係る生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ（左が目標値、右が実績値）	目標値等		年度別状況			
			2025	2026	2027	2028
1　観光消費額	現況値	目標値	2,213	2,217	2,221	2,225
	2,209億円/年	実績値	2,406			
	目標値	達成率(%)	108.7			
	2,225億円/年	達成度	4			
	指標の説明	観光入込客の消費総額				
2　観光入込客数	現況値	目標値	1,611	1,659	1,708	1,759
	1,566万人/年	実績値	1,749			
	目標値	達成率(%)	108.6			
	1,759万人/年	達成度	4			
	指標の説明	観光地点を訪れた観光客数				
3　延べ宿泊者数	現況値	目標値	571	588	605	623
	555万人/年	実績値	585			
	目標値	達成率(%)	102.5			
	623万人/年	達成度	4			
	指標の説明	延べ宿泊者数				
4　訪日外国人旅行消費額	現況値	目標値	151	160	169	180
	142億円/年	実績値	227			
	目標値	達成率(%)	150.3			
	180億円/年	達成度	5			
	指標の説明	県内の外国人旅行消費額				
5　外国人延べ宿泊者数	現況値	目標値	516	547	580	620
	487千人/年	実績値	679			
	目標値	達成率(%)	131.6			
	620千人/年	達成度	5			
	指標の説明	県内に宿泊する外国人延べ宿泊者数				
6　岡山桃太郎空港の国際線利用者数	現況値	目標値	25	28	31	34
	26万人/年	実績値	28			
	目標値	達成率(%)	112.0			
	34万人/年	達成度	4			
	指標の説明	岡山桃太郎空港を発着する国際線の利用者数				

指標名・グラフ （左が目標値、右が実績値）	目標値等	年度別状況				
			2025	2026	2027	2028
7 岡山後楽園の入園者数 	現況値	目標値	826	850	875	900
	782千人/年	実績値	834			
	目標値	達成率(%)	101.0			
	900千人/年	達成度	4			
	指標の説明	岡山後楽園の入園者数				

6 推進施策に係る目標の進捗(達成)状況

名称	現況値	目標値	2025 目標値	2025 実績値	2025 達成度
8 自然公園利用者数 ※1	950万人/年	1,140万人/年	1,108	1,092	3
9 県有文化財施設の入場者数	99,160人/年	138,000人/年	122,500	120,808	3
10 宇野港へのクルーズ客船の寄港回数	12回/年	25回/年	16	15	3
11 ハレいろサイクリング専用ホームページビュー件数	178,281件/年	200,000件/年	185,000	111,421	2

※1 2025年実績は2026年12月頃に確定するため、2024年実績により評価する。

政策コード	304
担当部局	農林水産部

1　政策の概要

重点戦略	Ⅲ　地域を支える産業の振興
プログラム	儲かる農林水産業加速化プログラム
プログラムの概要	儲かる産業としての農林水産業を確立するため、消費者等のニーズや変化を捉え、的確なマーケティングにつなげるとともに、岡山ブランドの拡充を図ります。また、供給力の強化に向け、産地の規模拡大や生産性向上の取組などを進めるほか、新規就農者の確保・育成に努めるとともに、農地の集積・集約化による規模拡大や法人化を進め、収益性の高い経営体等力強い担い手の育成を推進します。

2　施策の達成レベル

施策名		対応する指標	2025	2026	2027	2028
30401	【重点】マーケティングの強化とブランディングの推進	1、2-①	4.0			
30402	【重点】海外でのブランド確立による輸出拡大	2-②	3.0			
30403	【重点】桃、ぶどう、晴苺の供給力の強化	3	4.0			
30404	【重点】次代を担う力強い担い手の確保・育成	4	4.0			
30405	【重点】生産性の高い農業の推進	1、3、4	4.3			
30406	【推進】畜産物の生産振興	5	3.0			
30407	【推進】持続的な森林経営の推進	6	5.0			
30408	【推進】水産物の生産振興と消費拡大	7	4.0			
30409	【推進】6次産業化の推進	8	4.0			
30410	【推進】農林水産業を支える生産基盤の整備と長寿命化対策の推進	9	4.0			
30411	【推進】農業生産資材への地域資源の活用	10	4.0			
		プログラムの達成レベル	**3.9**			

3　総合評価

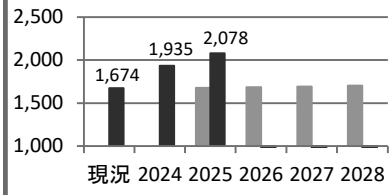
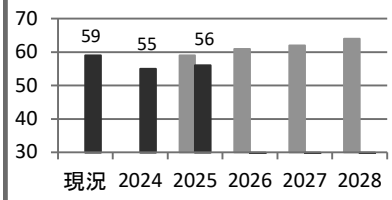
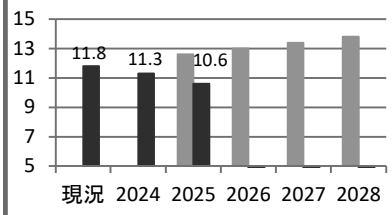
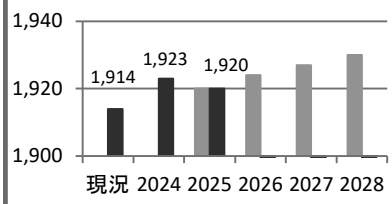
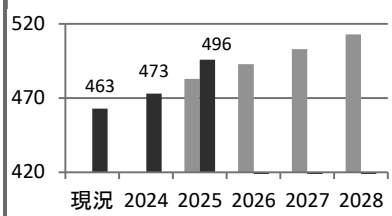
2025	2026	2027	2028
3.9			

・スイーツ店との連携や国内外の百貨店等における果物のPR販売の実施などにより、県産果物のブランド力の強化や輸出拡大に向けた取組を進めた。
・桃やぶどうの供給力強化を図るため、新たな園地の整備やスマート農業機器の導入支援等による省力化や生産性の向上に取り組んだ。
・法人化意向のある農業者に対し、経営診断や専門家の派遣などの伴走支援を実施することにより、担い手の確保・育成を図った。
・農林水産業産出額については、主食用米の取引価格や主要野菜の単価上昇により前年を上回った。

4　今後の政策推進に向けての課題

・農林水産業を将来にわたり成長し続ける魅力ある産業とするため、マーケティングを強化するとともに、競争力のある桃やぶどうを中心として、国内外に通じる岡山ブランドのさらなる確立を図る必要がある。
・省力化につながるスマート農業技術の導入や園地の集積・集約化、専門家派遣などの伴走支援や法人化に関する体系的な研修を通じて、次代を担う力強い担い手を確保・育成していくことが必要である。

5　重点施策に係る生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況			
			2025	2026	2027	2028
1　農林水産業産出額	現況値	目標値	1,676	1,684	1,691	1,700
	1,674億円/年	実績値	2,078			
	目標値	達成率(%)	124.0			
	1,700億円/年	達成度	5			
	指標の説明	農林水産業産出額 ※2025年実績は2027年3月頃に確定するため、2024年実績により評価する。				
2-①　県産果物の首都圏及び関西圏販売金額	現況値	目標値	59	61	62	64
	59億円/年	実績値	56			
	目標値	達成率(%)	94.9			
	64億円/年	達成度	3			
	指標の説明	東京都中央卸売市場及び大阪市中央卸売市場での県産果物の販売金額				
2-②　県産果物の輸出金額	現況値	目標値	12.6	13.0	13.4	13.8
	11.8億円/年	実績値	10.6			
	目標値	達成率(%)	84.1			
	13.8億円/年	達成度	3			
	指標の説明	県産果物の輸出金額				
3　桃、ぶどう、晴苺の栽培面積	現況値	目標値	1,920	1,924	1,927	1,930
	1,914ha	実績値	1,920			
	目標値	達成率(%)	100.0			
	1,930ha	達成度	4			
	指標の説明	桃、ぶどう、晴苺の栽培面積				
4　認定農業者の法人数	現況値	目標値	483	493	503	513
	463法人	実績値	496			
	目標値	達成率(%)	102.7			
	513法人	達成度	4			
	指標の説明	認定農業者の法人数				

6　推進施策に係る目標の進捗(達成)状況

名称	現況値	目標値	2025 目標値	2025 実績値	2025 達成度
5　肉用牛(肥育牛)の出荷頭数	14,499頭/年	15,100頭/年	14,740	14,578	3
6　県産材の生産量	588千㎥/年	620千㎥/年	590	691	5
7　カキ養殖業1経営体当たりの生産額	2,186万円/年	2,270万円/年	2,208	2,370	4
8　デジタル技術を活用する6次産業化事業者の割合	39.3%	50.0%	44.1	46.8	4
9　基幹的な土地改良施設の長寿命化対策着手率	30.3%	39.0%	33.8	35.0	4
10　耕畜連携による飼料用作物等の作付面積	2,356ha/年	2,475ha/年	2,386	2,468	4

政策コード	305
担当部局	産業労働部

1　政策の概要

重点戦略	Ⅲ　地域を支える産業の振興
プログラム	働く人応援プログラム
プログラムの概要	県内外の新規学卒者など若者の還流と県内への定着に取り組むとともに、女性や高年齢者などの活躍を促進するほか、留学生等の外国人材の適正・円滑な受入れを支援するなど、県内企業の人材確保を図ります。また、企業の働き方改革を支援するとともに、テレワークなど時間や場所にとらわれない働き方や人材の確保・定着につながる働き方についても情報発信し、多様で柔軟な働き方を推進します。

2　施策の達成レベル

施　策　名		対応する指標	2025	2026	2027	2028
30501	【重点】若者の県内定着を進める就職支援	1	3.0			
30502	【重点】県内企業の発展を担う人材の還流・定着の支援	1、2	3.0			
30503	【重点】意欲や能力に応じて活躍できる働き方の推進	3	3.0			
30504	【重点】男女の均等な雇用機会等の確保と女性の活躍推進	4	3.0			
30505	【重点】外国人材の活躍支援	5	4.0			
30506	【重点】高年齢者の就業支援	6	4.0			
30507	【推進】障害のある人の就労支援	7	3.0			
		プログラムの達成レベル	**3.3**			

3　総合評価

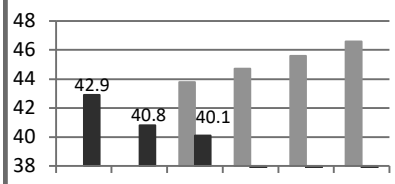
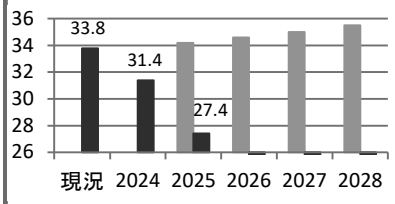
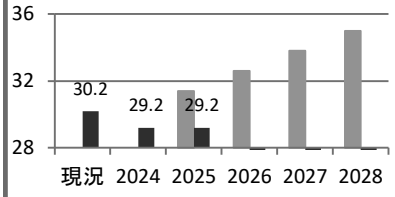
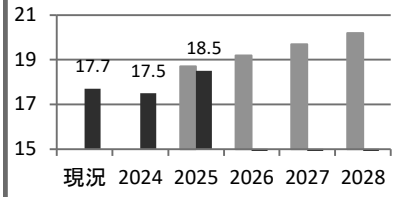
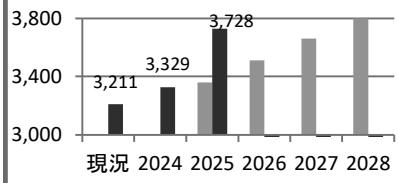
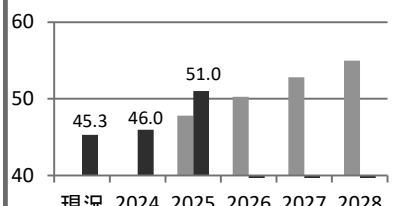
・県内企業の若手社員に委嘱している「おかやま就活サポーター」による県内就職の魅力発信、インターンシップを実施する県内企業と学生のマッチング機会の創出、労働局や大学等と連携した合同就職面接会等の開催、おかやま就職応援センターによるマッチング・職業紹介等により、若者をはじめとする人材の還流及び定着に取り組んだが、大学新卒者の県内就職率やUターン就職率の目標達成には至らなかった。
・多様で柔軟な働き方を推進するセミナーの開催や、働きやすい職場づくりに取り組む企業の優良事例集の横展開を図るなど、企業の働き方改革の取組を推進した。また、高年齢者や障害のある人が適性や能力に応じて働くことができるよう就労支援に取り組んだ。

2025	2026	2027	2028
3.3			

4　今後の政策推進に向けての課題

・県内で働くこと及び県内企業の魅力を効果的に発信するとともに、就職活動の早期化等の変化に対応しながら、若者をはじめとする人材の還流・定着に取り組んでいく必要がある。
・岡山県外国人材等支援推進計画に基づき、外国人材の適正で円滑な受入れの支援に取り組む必要がある。
・引き続き、働き方改革の推進に向けた機運の醸成を図るとともに、多様で柔軟な働き方の実現に向けた企業の取組を支援する必要がある。

5　重点施策に係る生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等	年度別状況				
			2025	2026	2027	2028
1　県内大学新卒者の県内就職率	現況値	目標値	43.8	44.7	45.6	46.6
	42.9%	実績値	40.1			
	目標値	達成率(%)	91.6			
	46.6%	達成度	3			
	指標の説明	県内大学新卒者の就職者数に占める県内への就職者数の割合				
2　本県出身の県外大学新卒者のUターン就職率	現況値	目標値	34.2	34.6	35.0	35.5
	33.8%	実績値	27.4			
	目標値	達成率(%)	80.1			
	35.5%	達成度	3			
	指標の説明	本県出身の県外大学新卒者で就職した者のうち、県内にUターン就職した者の割合				
3　勤務間インターバル制度に取り組んでいる事業所の割合	現況値	目標値	31.4	32.6	33.8	35.0
	30.2%	実績値	29.2			
	目標値	達成率(%)	93.0			
	35.0%	達成度	3			
	指標の説明	県内事業所のうち、勤務間インターバル制度に取り組んでいる事業所の割合				
4　管理職における女性比率(民間企業)	現況値	目標値	18.7	19.2	19.7	20.2
	17.7%	実績値	18.5			
	目標値	達成率(%)	98.9			
	20.2%	達成度	3			
	指標の説明	県内事業所の管理職(課長級以上)における女性の割合				
5　専門的知識・技術を有する外国人労働者数	現況値	目標値	3,361	3,511	3,661	3,800
	3,211人	実績値	3,728			
	目標値	達成率(%)	110.9			
	3,800人	達成度	4			
	指標の説明	「外国人雇用状況」の届出状況まとめより、専門的・技術的分野の在留資格のうち「技術・人文知識・国際業務」の外国人労働者数				
6　70歳以上まで働ける企業割合	現況値	目標値	47.8	50.3	52.8	55.0
	45.3%	実績値	51.0			
	目標値	達成率(%)	106.7			
	55.0%	達成度	4			
	指標の説明	70歳以上まで働ける企業割合				

6　推進施策に係る目標の進捗(達成)状況

名称	現況値	目標値	2025 目標値	2025 実績値	2025 達成度
7　民間企業における障害者の実雇用率	2.58%	2.78%	2.66	2.45	3

政策コード	401
担当部局	保健医療部

1　政策の概要

重点戦略	Ⅳ　安心で豊かさが実感できる地域の創造
プログラム	保健医療充実プログラム
プログラムの概要	すべての県民の健康増進のため、生活習慣病の発症や重症化の予防などに取り組み、平均寿命の延伸を上回る健康寿命の延伸を目指します。また、限りある医療資源を効果的・効率的に活用しながら、疾病の予防から治療、リハビリテーション、介護まで、地域におけるより良質で効率的な保健医療体制の確立を目指すとともに、未知の感染症の感染拡大に即時対応可能な体制を構築するなど、県民誰もが良質な保健・医療・介護サービスを受けられ、地域全体で、すべての人の自立と支え合い、安全・安心をつくり出す地域共生社会の実現を目指します。

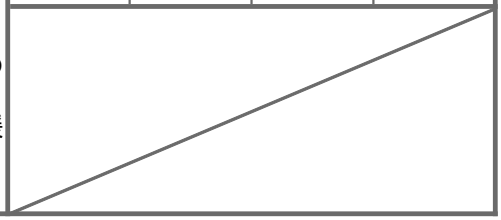
2　施策の達成レベル

施　策　名		対応する指標	2025	2026	2027	2028
40101	【重点】地域医療を支える医療従事者の育成・確保	1	4.0			
40102	【重点】人口減少・高齢化に対応した医療提供体制の整備	2	4.0			
40103	【重点】心と体の健康づくりの推進	3、4-①②、5、6	3.0			
40104	【重点】感染症対策の強化	6、7	3.5			
40105	【推進】療養生活の質の向上	8、9	4.0			
40106	【推進】命を救う助け合いの推進	10	3.0			
	プログラムの達成レベル		**3.6**			

3　総合評価

・医師不足地域で勤務する医師を確保するため、岡山大学に設置した寄附講座を通じて、地域で勤務する意欲を持つ医師を養成するとともに、地域医療支援センターによるキャリア形成支援や、地域勤務を希望する地域枠卒業医師のマッチング等を行い、目標を超える医師不足地域に勤務する地域枠卒業医師の確保につなげ、地域医療提供体制の整備を進めることができた。
・がん患者に適切な緩和ケアを提供する体制の強化を図るため、多くの医師等に、各がん診療連携拠点病院が開催する緩和ケア研修会への参加を呼びかけるとともに、研修に参加できなかった医師等を対象に、県主催で研修会を開催したことにより、目標を超える医師等の緩和ケア研修終了者数を達成することができた。

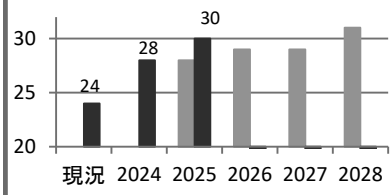
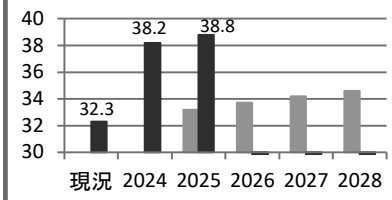
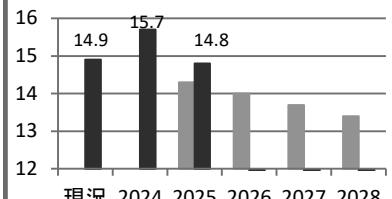
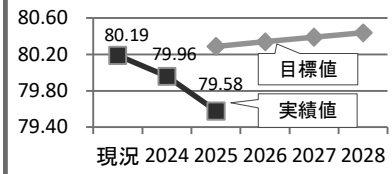
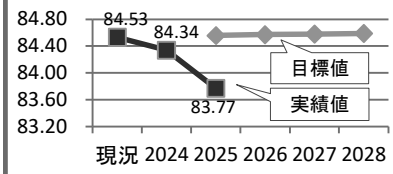
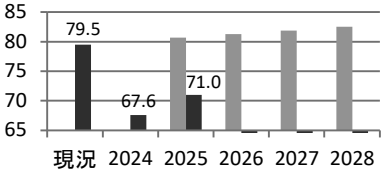
2025	2026	2027	2028
3.6			

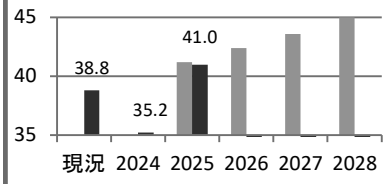
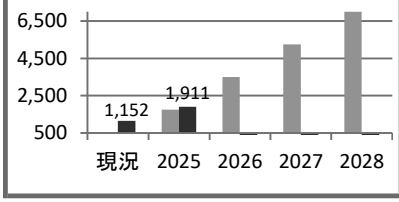


4　今後の政策推進に向けての課題

・新たな地域医療構想は、入院医療だけではなく、外来医療・在宅医療、介護との連携、人材確保等を含めた地域の医療提供体制全体の構想となることから、市町村が現在行っている在宅医療・介護連携推進事業の取組を生かしながら、医療と介護の連携を進める必要がある。
・健康寿命の延伸を阻害している要因の分析調査により、喫煙割合、塩分摂取量、ＢＭＩ、血圧が本県における強い阻害要因として示唆されたことから、今後、これらの健康指標に着目した対策に重点的に取り組む必要がある。
・新興感染症等の発生やまん延を防止するため、平時から行政機関や医療機関等関係者が一体となった取組を行い、事前対応に重点を置いた対策を推進する必要がある。

5　重点施策に係る生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等	年度別状況				
			2025	2026	2027	2028
1　県内の医師不足地域の医療機関に勤務する地域枠卒業医師数 	現況値	目標値	28	29	29	31
	24人	実績値	30			
	目標値	達成率(%)	107.1			
	31人	達成度	4			
	指標の説明	県の医師確保対策として岡山大学及び広島大学の医学部医学科に設置した地域枠コースを卒業し、県内の医師不足地域の医療機関に勤務する医師の数				
2　病院(精神科病院を除く)・内科診療所のうち在宅療養支援病院・診療所の数の割合 	現況値	目標値	33.2	33.7	34.2	34.6
	32.3%	実績値	38.8			
	目標値	達成率(%)	116.9			
	34.6%	達成度	4			
	指標の説明	病院(精神科病院を除く)・内科診療所のうち在宅療養支援病院・診療所の数の割合				
3　20歳以上の者の喫煙率 	現況値	目標値	14.3	14.0	13.7	13.4
	14.9%	実績値	14.8			
	目標値	達成率(%)	96.6			
	13.4%	達成度	3			
	指標の説明	20歳以上の喫煙率				
4-①　日常生活動作が自立している期間の平均(健康寿命)(男性) 	現況値	目標値	80.29	80.34	80.39	80.44
	80.19歳	実績値	79.58			
	目標値	達成率(%)	99.1			
	80.44歳	達成度	3			
	指標の説明	日常生活動作が自立している期間の平均(健康寿命)(男性) ※実績値は前年度調査の集計値から算出				
4-②　日常生活動作が自立している期間の平均(健康寿命)(女性) 	現況値	目標値	84.56	84.57	84.58	84.59
	84.53歳	実績値	83.77			
	目標値	達成率(%)	99.1			
	84.59歳	達成度	3			
	指標の説明	日常生活動作が自立している期間の平均(健康寿命)(女性) ※実績値は前年度調査の集計値から算出				
5　健康づくりに取り組んでいる県民の割合 	現況値	目標値	80.7	81.3	81.9	82.5
	79.5%	実績値	71.0			
	目標値	達成率(%)	88.0			
	82.5%	達成度	3			
	指標の説明	健康づくりに取り組んでいる県民の割合				

指標名・グラフ （左が目標値、右が実績値）	目標値等	年度別状況				
			2025	2026	2027	2028
6 子宮頸がんの予防法について正しく知っている県民の割合  	現況値	目標値	41.2	42.4	43.6	45.0
	38.8%	実績値	41.0			
	目標値	達成率(%)	99.5			
	45.0%	達成度	3			
	指標の説明	子宮頸がんの予防法について正しく知っている県民の割合				
7 感染症に関する訓練・研修会への参加人数  	現況値	目標値	1,750	3,500	5,250	7,000
	1,152人/年	実績値	1,911			
	目標値	達成率(%)	109.2			
	7,000人	達成度	4			
	指標の説明	感染症に関する訓練・研修会への参加人数（目標値は2025～2028年度の累計）				

6 推進施策に係る目標の進捗(達成)状況

名称	現況値	目標値	2025 目標値	2025 実績値	2025 達成度
8 緩和ケア研修終了医師等数 ※1	3,429人	4,329人	3,789	3,938	5
9 難病相談・支援センター利用者数	677人/年	730人/年	700	641	3
10 若年層の献血率	5.30%	6.70%	5.92	5.10	3

※1 達成度は現況値からの増加数で算出

政策コード	402
担当部局	子ども・福祉部

1　政策の概要

重点戦略	Ⅳ　安心で豊かさが実感できる地域の創造
プログラム	福祉サービス推進プログラム
プログラムの概要	市町村における重層的支援体制の構築や地域での包括的な支援体制の充実など、共に支え合う地域づくりの取組を進めます。取組の推進に当たっては、福祉・介護関係の事業所・法人をはじめ、民間の支援団体等との連携・協働の一層の強化を図り、地域共生社会の実現を目指します。また、県民誰もが必要な福祉サービスの提供が受けられるよう、福祉・介護人材の育成・確保を図ります。

2　施策の達成レベル

施　策　名		対応する指標	2025	2026	2027	2028
40201	【重点】地域包括ケアシステムの深化・推進	1	3.0			
40202	【重点】福祉・介護の人材確保とサービスの質の向上	2	3.0			
40203	【重点】障害のある人の自立と社会参加の促進	3	4.0			
40204	【推進】認知症施策の推進	4	4.0			
40205	【推進】発達障害のある人のトータルライフ支援の推進	5	3.0			
40206	【推進】精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの推進	6	4.0			
40207	【推進】困難な問題を抱える女性への支援	7	4.0			
40208	【推進】共に支え合う地域づくりの推進	8	4.0			
		プログラムの達成レベル	**3.6**			

3　総合評価

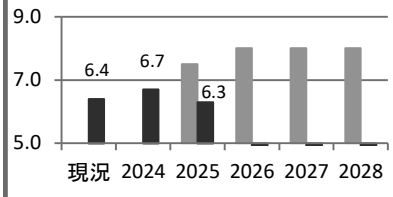
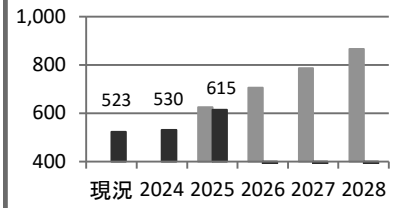
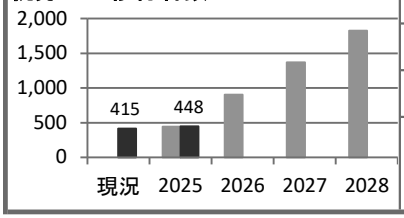
・介護予防交流フォーラムの開催など地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組んだが、介護予防のための通いの場への参加率は目標を下回る結果となった。一方で、認知症の人やその家族を地域で支える体制の整備を図るため、認知症サポーターやキャラバンメイトの養成などに取り組み、認知症サポーター養成講座受講者数は目標を上回った。
・福祉・介護人材の安定的な確保・定着を図るため、福祉人材センターによる就労支援のほか、事業者に対する認証事業所の取組の積極的なＰＲなどに取り組んだが、「おかやま☆フクシ・カイゴ職場すまいる宣言」登録数は目標を下回る結果となった。
・障害のある人の就労支援について、障害者就業・生活支援センターを核として、雇用と福祉が連携した取組を推進した結果、目標を超える一般就労への移行につなげることができた。

2025	2026	2027	2028
3.6			

4　今後の政策推進に向けての課題

・介護予防を推進するにあたり、身近な場所で高齢者が集い軽い体操などを行う「通いの場」の普及は、重要であるが、高齢化の進行に伴い担い手の不足など運営の継続性といった課題が考えられるため、担い手の掘り起こしなどの取組を進めるとともに、参加意欲を高める「通いの場」の一層の魅力向上に努めていく必要がある。
・高齢化の進行に伴う介護ニーズの増大や労働力人口の減少により、福祉・介護人材の確保は今後一層厳しくなることが見込まれるため、「おかやま☆フクシ・カイゴ職場すまいる宣言」制度の活用により働きやすい職場環境づくりを推進しているが、中小規模の法人の事業所登録数が伸び悩んでいる。このため、専門家による他法人の事例を踏まえた丁寧な相談や事業所が集まる場を活用したきめ細かな周知等を実施し、さらなる登録につなげる必要がある。
・ハローワークや地元企業等と連携し、一般就労への移行を促進するとともに、就労定着支援にも取り組み、障害のある人の就労を一体的に支援する必要がある。

5　重点施策に係る生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等	年度別状況				
			2025	2026	2027	2028
1　介護予防のための通いの場への参加率  	現況値	目標値	7.5	8.0	8.0	8.0
	6.4%	実績値	6.3			
	目標値	達成率(%)	84.0			
	8.0%	達成度	3			
	指標の説明	介護予防等を目的とした「通いの場」への高齢者の参加率 ※2025年度実績は2027年4月頃に公表されるため、2024年度実績により評価する。				
2「おかやま☆フクシ・カイゴ職場すまいる宣言」登録数  	現況値	目標値	626	706	786	866
		増加数	〈103〉	〈183〉	〈263〉	〈343〉
	523事業所	実績値	615			
		増加数	〈92〉			
	目標値	達成率(%)	89.3			
	866事業所	達成度	3			
	指標の説明	おかやま☆フクシ・カイゴ職場すまいる宣言事業所として登録した数(達成率は現況値からの増加数で算出)				
3　障害福祉サービス利用者の一般就労への移行者数  	現況値	目標値	445	905	1,365	1,825
	415人/年	実績値	448			
	目標値	達成率(%)	100.7			
	1,825人	達成度	4			
	指標の説明	就労系障害福祉サービスから一般就労への移行者数(目標値は2025～2028年度の累計)				

6　推進施策に係る目標の進捗(達成)状況

名称	現況値	目標値	2025 目標値	2025 実績値	2025 達成度
4　認知症サポーター養成講座受講者数 ※1	239,789人	310,000人	266,000	267,971	4
5　発達障害について身近に相談できるかかりつけ医の数 ※1	323人	430人	370	363	3
6　精神病床における慢性期(1年以上)入院患者数	2,026人/年	1,891人/年	1,972	1,838	4
7　女性相談支援センターが行う相談支援等の満足度	―	80.0%	80.0	89.0	4
8　包括的な支援体制の整備に取り組んでいる市町村数 ※1	8市町村	16市町村	11	11	4

※1　達成度は現況値からの増加数で算出

政策コード	403
担当部局	子ども・福祉部

1　政策の概要

重点戦略	Ⅳ　安心で豊かさが実感できる地域の創造
プログラム	子ども・若者支援プログラム
プログラムの概要	福祉・保健・医療が一体となった相談体制の整備や各分野のネットワークの充実を図り、関係機関や団体等の連携の下で、個々の状況やニーズ、特性に応じたきめ細かい支援を推進し、一人ひとりが夢や希望を持って未来を切り拓ける環境づくりに取り組みます。

2　施策の達成レベル

施策名		対応する指標	2025	2026	2027	2028
40301	【重点】子どもと家族を見守り支える地域づくり	1	5.0			
40302	【重点】困難な状況にある子ども・若者への支援	2	4.0			
40303	【推進】子どもの貧困対策の推進	3	2.0			
40304	【推進】子ども虐待防止のさらなる強化	4	4.0			
40305	【推進】社会的養育の推進	5	4.0			
40306	【推進】障害のある子どもへの支援	6	4.0			
		プログラムの達成レベル	**3.8**			

3　総合評価

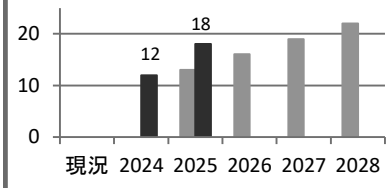
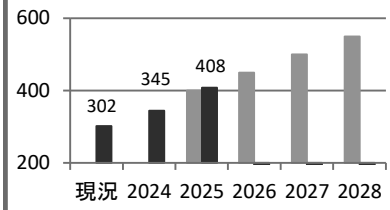
・母子保健と児童福祉の機能を一体化した市町村の「こども家庭センター」について、専門家チームとともにモデル市町村の支援を行う等により、設置市町村数は増加し、目標値を上回った。里親登録に向けて普及啓発活動を通じて里親制度の周知に取り組み、里親等委託率は目標値を上回った。
・中途退学者等の進路決定者数についても県教委及び学校と連携し、県青少年総合相談センターにおける専任のコーディネーターによる相談対応をより広く支援希望者に周知し、目標値を上回ったが、子どもの貧困対策については、子どもの居場所アドバイザーによる助言や居場所の立ち上げに必要な経費の補助を行うことで新たな居場所の開設を支援したものの、目標値を下回っている。

2025	2026	2027	2028
3.8			

4　今後の政策推進に向けての課題

・こども家庭センターの設置や運営に係る市町村の対応力の強化に向けた支援に引き続き取り組むとともに、里親制度の推進について、里親登録に向けた制度の周知、子どもと里親のマッチング、里親委託後の支援の充実等、包括的なフォローアップ体制の整備に取り組む必要がある。
・中途退学者等の支援を必要とする生徒等に、確実に相談窓口の情報が届くよう引き続き学校等と連携しながら取り組む必要がある。
・子どもの貧困対策の推進について、市町村や市町村社協等に加入を働きかけるとともに、交流会の開催等により、子どもの居場所を新たに始めようとする団体等へも加入を促し、ネットワークの拡充に取り組む必要がある。

5　重点施策に係る生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況			
			2025	2026	2027	2028
1　こども家庭センターの設置市町村数  	現況値	目標値	13	16	19	22
	—	実績値	18			
	目標値	達成率(%)	138.5			
	22市町村	達成度	5			
	指標の説明	こども家庭センターの設置市町村数				
2　中途退学者等への自立支援を通じた進路決定者数  	現況値	目標値	400	450	500	550
		増加数	〈98〉	〈148〉	〈198〉	〈248〉
	302人	実績値	408			
		増加数	〈106〉			
	目標値	達成率(%)	108.2			
	550人	達成度	4			
	指標の説明	中途退学者等への自立支援を通じた進路決定者数(達成率は現況値からの増加数で算出)				

6　推進施策に係る目標の進捗(達成)状況

名称	現況値	目標値	2025 目標値	2025 実績値	2025 達成度
3　子どもの貧困対策に係るネットワーク事業に参加している団体数	113団体	153団体	129	92	2
4　こども家庭ソーシャルワーカーの認定資格取得者数	－	12人	3	3	4
5　里親等委託率	33.4%	54.0%	42.0	43.9	4
6　就学前後の移行期における発達支援の情報連携を運用している市町村数 ※1	15市町村	19市町村	16	16	4

※1　達成度は現況値からの増加数で算出

政策コード	404
担当部局	知事直轄

1　政策の概要

重点戦略	Ⅳ　安心で豊かさが実感できる地域の創造
プログラム	防災対策強化プログラム
プログラムの概要	過去の災害の教訓を踏まえ、自助、共助、公助の観点に立って、ハード・ソフト対策を適切に組み合わせ、災害時の被害を最小化し、被害の迅速な回復を図る「減災」の考え方を防災の基本理念とし、計画的に県土の強靭化に取り組むことにより、県民が安心して暮らすことのできる災害に強い地域づくりを進めます。

2　施策の達成レベル

施　策　名		対応する指標	2025	2026	2027	2028
40401	【重点】自らの命は自らが守る取組の促進	1	3.0			
40402	【重点】互いに助け合う地域の防災力の充実強化	2	4.0			
40403	【重点】県民の命を守る災害対応力の充実強化	3、4	2.5			
40404	【重点】防災施設の整備や公共施設等の耐震化等の推進	5、6、7-①②	4.3			
40405	【推進】コンビナート防災対策の推進	8	4.0			
40406	【推進】土木施設の長寿命化の推進	9	5.0			
40407	【推進】災害対応能力の向上	10	4.0			
40408	【推進】中小企業の事業継続力の強化	11-①②	3.5			
40409	【推進】盛土等に伴う災害防止の取組の推進	12	4.0			
	プログラムの達成レベル		**3.8**			

3　総合評価

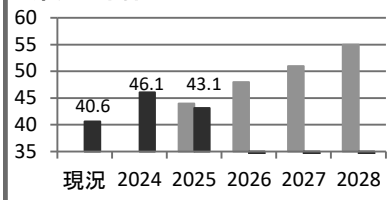
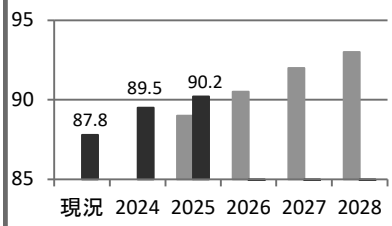
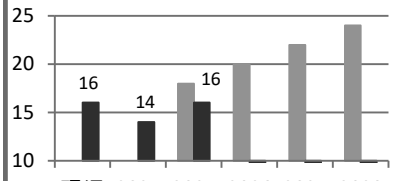
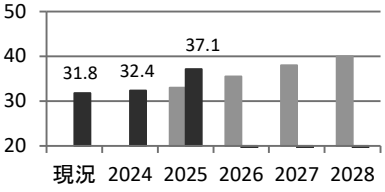
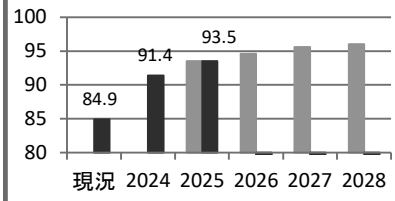
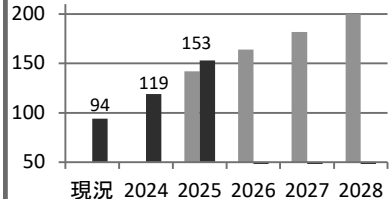
・小学生向け防災動画の作成・公開など様々な機会を通じた情報発信や、事業継続計画（BCP）の策定支援などを通じ、県民や事業者へ自助の取組を働きかけ、「自らの命は自らが守る」意識の醸成に努めた。
・共助の取組として、自主防災組織に関する基礎知識を習得する研修や地区防災計画・個別避難計画の作成支援を進め、自主防災組織率が目標を達成するなど、地域防災力の強化に一定の成果があった。
・公助の取組では、緊急輸送道路上の橋梁耐震化や河道内整備、盛土規制法に基づく基礎調査を進めたほか、DMAT等の災害派遣要員の育成や防災情報ネットワークの更新など、ハード・ソフト両面から県土の強靭化に取り組んだ。

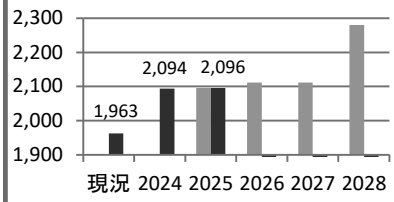
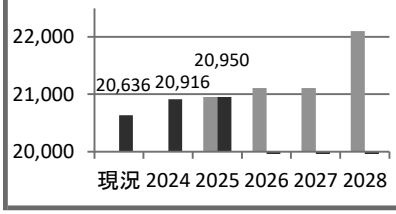
2025	2026	2027	2028
3.8			

4　今後の政策推進に向けての課題

・南海トラフ地震や激甚化・頻発化する風水害等に備え、自助の意識を一層高めるため、ハザードマップの確認促進や、次世代を担う子どもたちへの防災教育など、様々な機会を通じて防災知識の普及啓発を行い、県民一人ひとりの適切な避難行動につなげる必要がある。
・共助の取組については、自主防災組織の結成・活性化や地区防災計画・個別避難計画の作成を促進するため、引き続き市町村と連携し、地域の防災活動の中核を担う防災リーダー等の人材育成を強化することで、地域防災力の向上を図る必要がある。
・公助の取組として、住民参加型の防災訓練や、関係機関との情報伝達の精度向上を意識したコンビナート防災訓練を継続的に実施する必要がある。また、災害時に支援物資を確実に届けるための物流体制の強化や、盛土規制法に基づく継続的な調査による危険箇所の早期発見など、災害対応力の向上と県土強靭化に向けた取組を計画的に推進する必要がある。

5 重点施策に係る生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況			
			2025	2026	2027	2028
1 ハザードマップの確認を行っている県民の割合	現況値	目標値	44.0	48.0	51.0	55.0
	40.6%	実績値	43.1			
	目標値	達成率(%)	98.0			
	55.0%	達成度	3			
	指標の説明	自分の住んでいる地域のハザードマップについて、確認を行っている県民の割合				
2 自主防災組織率	現況値	目標値	89.0	90.5	92.0	93.0
	87.8%	実績値	90.2			
	目標値	達成率(%)	101.3			
	93.0%	達成度	4			
	指標の説明	管内世帯数に占める自主防災組織が活動範囲としている地域の世帯数の割合(速報値)				
3 県内外の被災地に派遣できる「チームおかやま」の数	現況値	目標値	18	20	22	24
		増加数	〈2〉	〈4〉	〈6〉	〈8〉
	16チーム	実績値	16			
		増加数	〈0〉			
	目標値	達成率(%)	0.0			
	24チーム	達成度	1			
	指標の説明	大規模災害発生時に、被災した都道府県及び市町村の被災地に派遣できる「チームおかやま」の数(達成率は現況値からの増加数で算出)				
4 スマホアプリ等を通じて防災情報を入手する県民の割合	現況値	目標値	33.0	35.5	38.0	40.0
	31.8%	実績値	37.1			
	目標値	達成率(%)	112.4			
	40.0%	達成度	4			
	指標の説明	スマホアプリ等を通じて防災情報を入手する県民の割合				
5 特に重要な緊急輸送道路上の橋梁の耐震化率	現況値	目標値	93.5	94.6	95.6	96.0
	84.9%	実績値	93.5			
	目標値	達成率(%)	100.0			
	96.0%	達成度	4			
	指標の説明	緊急輸送道路の中でも特に重要な路線上にある橋梁の耐震化率				
6 河道内整備の実施延長	現況値	目標値	142	164	182	200
		増加数	〈48〉	〈70〉	〈88〉	〈106〉
	94km	実績値	153			
		増加数	〈59〉			
	目標値	達成率(%)	122.9			
	200km	達成度	5			
	指標の説明	土砂堆積や樹木繁茂により流水が阻害されている箇所のうち、優先度が高く対策が必要な箇所の河道内整備の実施延長(達成率は現況値からの増加数で算出)				

指標名・グラフ （左が目標値、右が実績値）	目標値等	年度別状況				
			2025	2026	2027	2028
7-① 護岸等の整備により高潮被害が解消される防護面積  	現況値	目標値	2,096	2,112	2,112	2,280
		増加数	〈133〉	〈149〉	〈149〉	〈317〉
	1,963ha	実績値	2,096			
		増加数	〈133〉			
	目標値	達成率(%)	100.0			
	2,280ha	達成度	4			
	指標の説明	護岸等の海岸保全施設の整備により高潮被害が解消される区域の面積 （達成率は現況値からの増加数で算出）				
7-② 護岸等の整備により高潮被害が解消される戸数  	現況値	目標値	20,950	21,110	21,110	22,100
		増加数	〈314〉	〈474〉	〈474〉	〈1,464〉
	20,636戸	実績値	20,950			
		増加数	〈314〉			
	目標値	達成率(%)	100.0			
	22,100戸	達成度	4			
	指標の説明	護岸等の海岸保全施設の整備により高潮被害が解消される区域の戸数 （達成率は現況値からの増加数で算出）				

6 推進施策に係る目標の進捗(達成)状況

名称	現況値	目標値	2025 目標値	2025 実績値	2025 達成度
8 コンビナート総合防災訓練参加機関数	10機関/年	11機関/年	11	11	4
9 主な土木施設の長寿命化 ※1	50施設	255施設	129	203	5
10 関係機関や住民が参加した防災訓練の回数	3回/年	3回/年	3	3	4
11-① 県内中小企業のBCP（事業継続計画）策定率：製造業	25.5%	30.0%	27.0	27.7	4
11-② 県内中小企業のBCP（事業継続計画）策定率：小売・卸売業	16.0%	20.0%	17.0	15.4	3
12 既存盛土に関する現地調査実施率	0.0%	80.0%	20.0	21.4	4

※1 達成度は現況値からの増加数で算出

政策コード	405
担当部局	警察本部

1　政策の概要

重点戦略	Ⅳ　安心で豊かさが実感できる地域の創造
プログラム	暮らしの安全推進プログラム
プログラムの概要	犯罪や交通事故のない「安全・安心の岡山」の実現に向けて、県民や関係機関と連携しながら、犯罪抑止対策や交通事故防止対策、消費者被害対策、サイバー空間の安全確保に向けた取組をより一層推進するとともに、県民の安全を脅かす各種犯罪や悪質な交通違反の徹底検挙、暴力団等犯罪組織の壊滅に向けた対策等を推進します。

2　施策の達成レベル

施　策　名		対応する指標	2025	2026	2027	2028
40501	【重点】犯罪抑止対策の推進	1	3.0			
40502	【重点】捜査の高度化・科学化等の推進による犯罪の徹底検挙	2	5.0			
40503	【重点】交通事故防止対策の推進	3	4.0			
40504	【推進】特殊詐欺等対策の推進	4、5	1.5			
40505	【推進】サイバー空間の安全確保に向けた取組の推進	6	4.0			
40506	【推進】消費者被害の防止等の推進	7	4.0			
40507	【推進】少年非行防止対策の推進	8、9	3.5			
40508	【推進】暴力団をはじめとする組織犯罪対策の推進	10	2.0			
	プログラムの達成レベル		**3.4**			

3　総合評価

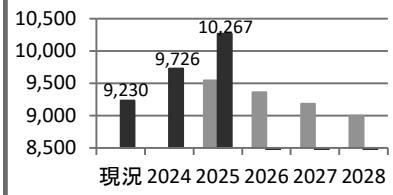
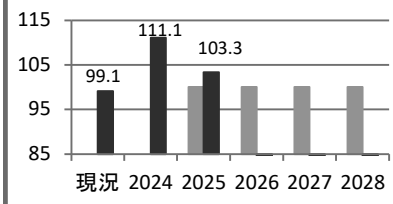
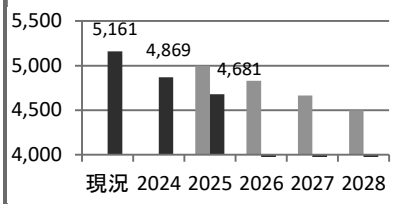
・重要犯罪検挙率は、初動捜査の徹底、防犯カメラ画像の解析等を推進した結果、目標を達成することができたほか、人身交通事故件数は、交通事故分析に基づいた抑止活動の推進により、目標を達成することができた。また、サイバー犯罪被害防止セミナーを企業や地域の会合等を対象に幅広く実施した結果、目標を達成することができた。
・刑法犯認知件数は、８年ぶりに１万件を越えるなど目標の達成には至らなかったほか、特殊詐欺等の認知件数は、若年層の被害が増加するなどして目標の達成には至らなかった。少年非行防止対策では、非行防止教室の実施率は上限の100%を達成したものの、刑法犯少年の増加により非行率の目標達成には至らなかった。暴力団対策では、暴力団対策法を３件、組織的犯罪処罰法を２件適用し、暴力団等の弱体化に努めたが、目標の達成には至らなかった。

2025	2026	2027	2028
3.4			

4　今後の政策推進に向けての課題

・防犯情報配信アプリ「ハレノポリス」やSNS等の各種広報媒体を活用し、特殊詐欺等の犯罪や交通事故の発生状況の分析に基づくタイムリーな広報啓発活動を行うとともに、各種取締りによる犯罪抑止対策や交通事故防止対策を一層推進する。
・学校や企業、関係機関、団体との連携を強化し、少年非行防止対策やサイバー空間の安全確保、消費者被害対策を一層推進する。
・県民の安全を脅かす各種犯罪については、引き続き、捜査の高度化・科学化の推進による徹底検挙に努めるほか、匿名・流動型犯罪グループ等を巧みに利用している可能性がある暴力団等犯罪組織の壊滅に向け、潜在化しているとみられる活動をあぶり出し、資金源を断つ取締りを推進する。

5　重点施策に係る生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況			
			2025	2026	2027	2028
1　刑法犯認知件数 	現況値	目標値	9,544	9,362	9,180	9,000
	9,230件/年	実績値	10,267			
	目標値	達成率(%)	93.0			
	9,000件/年	達成度	3			
	指標の説明	警察において発生を認知した刑法犯事件の数				
2　殺人、強盗等の重要犯罪検挙率 	現況値	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0
	99.1%	実績値	103.3			
	目標値	達成率(%)	103.3			
	100.0%	達成度	5			
	指標の説明	殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐・人身売買及び強制わいせつに係る検挙率				
3　人身交通事故件数 	現況値	目標値	5,000	4,830	4,665	4,500
	5,161件/年	実績値	4,681			
	目標値	達成率(%)	106.8			
	4,500件/年	達成度	4			
	指標の説明	警察において発生を認知した、人の死亡又は負傷を伴う交通事故の数				

6　推進施策に係る目標の進捗(達成)状況

名称	現況値	目標値	2025 目標値	2025 実績値	2025 達成度
4　特殊詐欺の認知件数	182件/年	140件/年	170	345	1
5　SNS型投資・ロマンス詐欺の認知件数	－	140件/年	140	194	2
6　サイバー犯罪被害防止セミナーの受講者数	1,993人/年	3,400人/年	3,400	3,663	4
7　消費者啓発セミナー等の受講者数	5,205人/年	6,000人/年	6,000	7,077	4
8　小・中・高等学校(義務教育学校、中等教育学校を含む)における非行防止教室の実施率	100.0%	100.0%	100.0	100.0	5
9　少年人口(10～19歳)1千人当たりに占める刑法犯少年の割合(非行率)	2.8人	2.5人	2.8	4.2	2
10　暴力団対策法等の適用件数	6件/年	8件/年	8	5	2

政策コード	406
担当部局	県民生活部

1　政策の概要

重点戦略	Ⅳ　安心で豊かさが実感できる地域の創造
プログラム	持続可能な中山間地域等形成プログラム
プログラムの概要	市町村やNPO、企業など多様な主体と連携し、デジタル技術の活用等による日常生活に必要なサービス機能や集落機能の維持・確保、移住・定住の促進に取り組むとともに、道路環境の整備等を行い、安心して暮らし続けることができる地域づくりを目指します。また、鳥獣被害の減少に向けた取組を進めるとともに、地域資源の活用等による農山漁村の振興を図ります。

2　施策の達成レベル

施策名		対応する指標	2025	2026	2027	2028
40601	【重点】生き活き拠点（小さな拠点）の形成促進	1	5.0			
40602	【重点】集落機能の維持・強化	2	5.0			
40603	【重点】多様な主体の活躍による持続可能な中山間地域等の形成促進	3	5.0			
40604	【重点】移住・定住の促進	4	4.0			
40605	【重点】地域公共交通ネットワークの活性化	5	3.0			
40606	【重点】地域の生活を支える道づくり	6	4.0			
40607	【重点】農作物等の鳥獣被害防止対策の推進	7-①②	3.0			
40608	【推進】地域づくりへの民間参加等の促進	8	2.0			
40609	【推進】持続可能な都市づくりの促進	9	4.0			
		プログラムの達成レベル	**3.9**			

3　総合評価

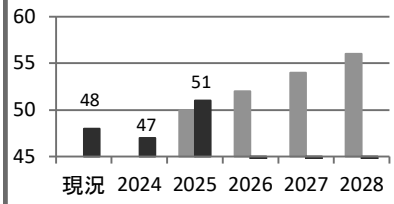
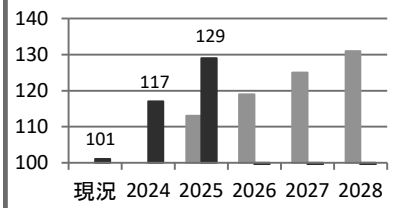
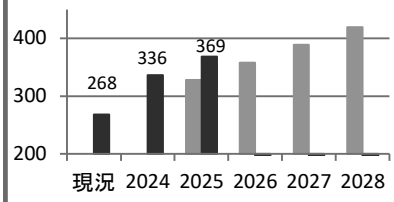
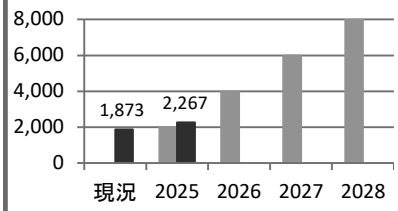
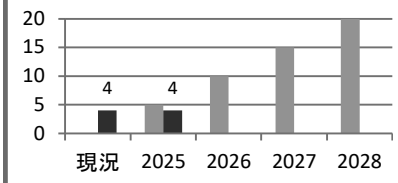
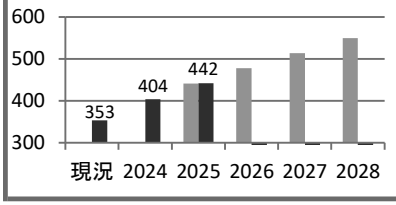
2025	2026	2027	2028
3.9			

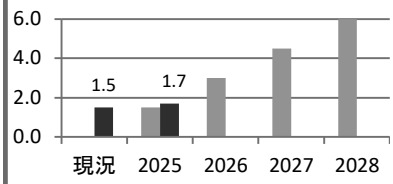
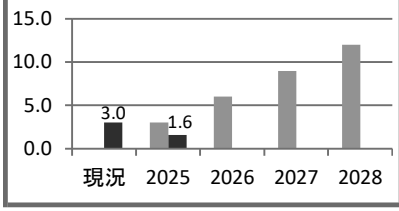
・集落生活圏を維持するための生き活き拠点の形成促進や、多様な主体と連携した持続可能な地域づくり、移住・定住の促進、地域公共交通ネットワークの活性化、地域の生活を支える道づくり、農作物等の鳥獣被害防止対策の推進等、地域の実情に応じた施策を、ハード・ソフト両面から総合的に推進し、地域づくりの活動計画等を策定している地域運営組織の数や、地域おこし協力隊退任後に県内に定着した人数等は目標を上回ったが、地域のニーズに応じた交通サービスを導入した件数や、イノシシの捕獲数、おかやま元気！集落応援団の派遣回数は目標を下回る結果となった。

4　今後の政策推進に向けての課題

・人口減少等による利用者の減少や運転手不足、燃料価格高騰など、地域公共交通を取り巻く環境は厳しさを増しており、市町村や交通事業者等と連携し、地域の実情に応じた利便性の高い公共交通体系の構築を引き続き進める必要がある。
・野生鳥獣による農作物等の被害金額はピーク時より減少しているものの、依然として高止まり傾向にあり、市町村等と連携し、防護、捕獲、利活用等の対策を総合的に実施するとともに、イノシシにおける豚熱感染事例の続発など、新たな課題の解決に向けた取組を進める必要がある。
・人口減少や高齢化が急速に進行している中山間地域において安心して暮らし続けることができる地域づくりを進めていくためには、地域の主体的な取組を支援するとともに、地域の実情を踏まえた施策を実施していく必要があり、引き続き、市町村をはじめとする多様な主体と連携し、ソフト・ハード両面から総合的に施策を推進する。

5　重点施策に係る生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ（左が目標値、右が実績値）	目標値等		年度別状況			
			2025	2026	2027	2028
1　集落生活圏を維持するための小さな拠点の形成数	現況値	目標値	50	52	54	56
		増加数	〈2〉	〈4〉	〈6〉	〈8〉
	48箇所	実績値	51			
		増加数	〈3〉			
	目標値	達成率(%)	150.0			
	56箇所	達成度	5			
	指標の説明	集落生活圏を維持するため、日常生活に必要なサービス機能の維持・確保を図る小さな拠点の形成数（達成率は現況値からの増加数で算出）				
2　地域づくりの活動計画等を策定している地域運営組織(RMO)の数	現況値	目標値	113	119	125	131
		増加数	〈12〉	〈18〉	〈24〉	〈30〉
	101組織	実績値	129			
		増加数	〈28〉			
	目標値	達成率(%)	233.0			
	131組織	達成度	5			
	指標の説明	地域ビジョン、地域経営の方針等を作成していると回答した地域運営組織の数（達成率は現況値からの増加数で算出）				
3　地域おこし協力隊退任後に県内に定住した人数	現況値	目標値	328	358	389	420
		増加数	〈60〉	〈90〉	〈121〉	〈152〉
	268人	実績値	369			
		増加数	〈101〉			
	目標値	達成率(%)	168.3			
	420人	達成度	5			
	指標の説明	都市部から地方へ移住し、地域の新たな担い手として期待される「地域おこし協力隊」の退任者のうち、県内に定住した人数（達成率は現況値からの増加数で算出）				
4　移住支援制度の利用件数	現況値	目標値	2,000	4,000	6,000	8,000
	1,873件/年	実績値	2,267			
	目標値	達成率(%)	113.4			
	8,000件	達成度	4			
	指標の説明	移住・定住施策に係る利用件数について、県事業の利用件数と市町村が回答したものを集計（目標値は2025～2028年度の累計）				
5　地域のニーズに応じた交通サービスを導入した件数	現況値	目標値	5	10	15	20
	4件/年	実績値	4			
	目標値	達成率(%)	80.0			
	20件	達成度	3			
	指標の説明	地域のニーズに応じた交通サービスを導入した件数（目標値は2025～2028年度の累計）				
6　地域の拠点性を高めることにつながる交通難所改善箇所数	現況値	目標値	441	478	514	550
		増加数	〈88〉	〈125〉	〈161〉	〈197〉
	353箇所	実績値	442			
		増加数	〈89〉			
	目標値	達成率(%)	101.1			
	550箇所	達成度	4			
	指標の説明	拠点的地域等の機能強化や日常生活の利便性向上につながる交通難所改善箇所数（達成率は現況値からの増加数で算出）				

指標名・グラフ （左が目標値、右が実績値）	目標値等	年度別状況				
			2025	2026	2027	2028
7-① シカの捕獲数 	現況値	目標値	1.5	3.0	4.5	6.0
	1.5万頭/年	実績値	1.7			
	目標値	達成率(%)	113.3			
	6.0万頭	達成度	4			
	指標の説明	シカの捕獲数（目標値は2025～2028年度の累計）				
7-② イノシシの捕獲数 	現況値	目標値	3.0	6.0	9.0	12.0
	3.0万頭/年	実績値	1.6			
	目標値	達成率(%)	53.3			
	12.0万頭	達成度	2			
	指標の説明	イノシシの捕獲数（目標値は2025～2028年度の累計）				

6　推進施策に係る目標の進捗(達成)状況

名称	現況値	目標値	2025 目標値	2025 実績値	2025 達成度
8　おかやま元気！集落応援団の派遣回数	13回/年	18回/年	14	10	2
9　立地適正化計画等策定市町数 ※1	10市町	14市町	12	12	4

※1　達成度は現況値からの増加数で算出

政策コード	407
担当部局	環境文化部

1　政策の概要

重点戦略	Ⅳ　安心で豊かさが実感できる地域の創造
プログラム	快適な環境保全プログラム
プログラムの概要	環境と経済の両立を図りつつ、循環型社会の形成や水、大気、土壌などの環境保全、本県の豊かな自然の保全と活用等により、より良い環境に恵まれた持続可能な社会の構築を目指します。

2　施策の達成レベル

施　策　名		対応する指標	2025	2026	2027	2028
40701	【重点】海ごみ対策の推進	1	3.0			
40702	【重点】花粉の飛散の低減に向けた取組の加速	2	4.0			
40703	【重点】生活排水対策の推進	3	3.0			
40704	【重点】みどりの食料システム戦略の推進	4	4.0			
40705	【重点】秩序ある水辺空間の創出	5	4.0			
40706	【推進】水、大気、土壌などの保全対策の推進	6-①②	4.0			
40707	【推進】循環型社会形成等の推進	7-①②	3.5			
40708	【推進】暮らしを支える豊かな自然環境や優れた景観の保全	8	5.0			
40709	【推進】快適な森林環境の創出と県民参加による森づくりの推進	9	5.0			
40710	【推進】空き家の適正管理、利活用の推進	10	4.0			
	プログラムの達成レベル		**4.0**			

3　総合評価

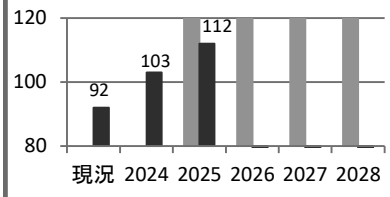
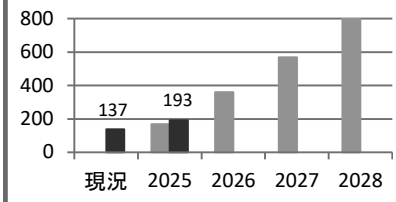
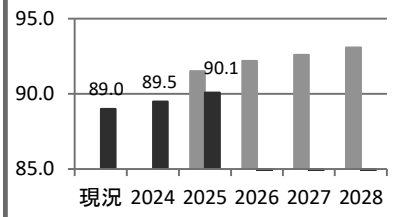
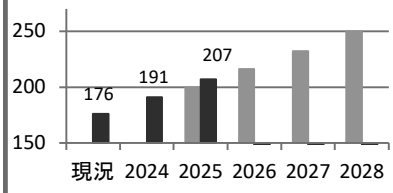
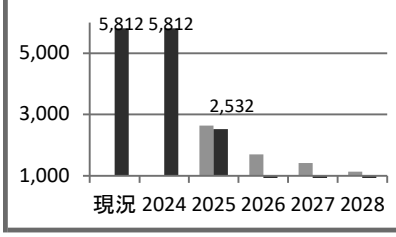
・海ごみ対策や食品ロス削減、プラスチック３Ｒの推進において、多様な主体やプロスポーツチーム等と連携したキャンペーン等の実施、体制づくりや事業者登録の推進により、回収・発生抑制に向けた意識の醸成や主体的な取組を促した。
・水、大気、土壌などの保全対策については、児島湖（COD）で依然として環境基準の達成に至らず、海域（COD）、光化学オキシダントの環境基準達成率に課題はあるものの、河川（BOD）、主要大気の環境基準達成率は高水準を維持している。
・みどりの少年隊をはじめとする児童・生徒への交流機会の提供や、自然保護センターにおける様々なイベントの開催等により、緑の重要性を学ぶ機会を設け、優れた自然環境や景観を保全・活用する取り組みを進めることができた。

2025	2026	2027	2028
4.0			

4　今後の政策推進に向けての課題

・身近な河川等でのごみ回収や、食品ロス・プラスチック３Ｒの推進において、県民一人ひとりが具体的な行動を習慣化できるよう促すとともに、海ごみ対策に対する熱意と識見を有する人材の育成・認定などにより、県内全域で多様な主体による取組を推進する必要がある。
・工場・事業場に対する関係法令に基づく立入検査等による排出基準等の遵守徹底を図るとともに、児島湖対策としての生活排水・農地対策等の推進や、微小粒子状物質対策としての稲わらの有効利用の促進など、水、大気、土壌の環境保全対策を引き続き推進する必要がある。
・海洋プラスチックごみ問題の観点からプラスチック３Ｒの啓発等と海ごみ対策事業との効率的な連携を図るとともに、みどりの少年隊の会員維持・活動促進や自然保護センターの利用者増加のための取組強化により、県民の自然への理解を深め、保全に対する意識を高めていく必要がある。

5　重点施策に係る生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ （左が目標値、右が実績値）	目標値等		年度別状況			
			2025	2026	2027	2028
1　海ごみ削減キャンペーン等によるごみの回収量  	現況値	目標値	120	120	120	120
	92t/年	実績値	112			
	目標値	達成率(%)	93.3			
	120t/年	達成度	3			
	指標の説明	海ごみ削減キャンペーン等によるごみの回収量				
2　少花粉スギ・ヒノキ苗木による植替えの面積  	現況値	目標値	170	360	570	800
	137ha/年	実績値	193			
	目標値	達成率(%)	113.5			
	800ha	達成度	4			
	指標の説明	県内の森林において植替えに使用されるスギ・ヒノキ苗木のうち少花粉苗木が占める面積（目標値は2025～2028年度の累計）				
3　汚水処理人口普及率  	現況値	目標値	91.5	92.2	92.6	93.1
	89.0%	実績値	90.1			
	目標値	達成率(%)	98.5			
	93.1%	達成度	3			
	指標の説明	下水道、集落排水施設、合併処理浄化槽により生活排水処理ができる人口の割合				
4　国際水準以上の有機農業の取組面積  	現況値	目標値	200	216	232	250
	176ha	実績値	207			
	目標値	達成率(%)	103.5			
	250ha	達成度	4			
	指標の説明	国際水準以上の有機農業の取組面積				
5　放置艇の隻数  	現況値	目標値	2,635	1,699	1,417	1,136
	5,812隻	実績値	2,532			
	目標値	達成率(%)	104.1			
	1,136隻	達成度	4			
	指標の説明	放置艇の隻数				

6 推進施策に係る目標の進捗(達成)状況

名称	現況値	目標値	2025 目標値	2025 実績値	2025 達成度
6-① 工場・事業場の排水・排ガス基準適合率(水質)	96.5%	98.0%	97.1	96.6	3
6-② 工場・事業場の排水・排ガス基準適合率(大気)	100.0%	100.0%	100.0	100.0	5
7-① 一般廃棄物の排出抑制・資源化率 ※1	96.7%	97.0%	96.8	97.0	4
7-② 産業廃棄物の排出抑制・資源化率 ※1	95.9%	97.0%	96.2	96.1	3
8 身近な自然体験プログラムの参加者数	38,873人/年	30,100人/年	29,223	55,439	5
9 森づくり活動への参加企業数 ※2	29社	34社	31	32	5
10 空家等活用促進区域指定済市町村数	0市町村	4市町村	1	1	4

※1 2025年実績は2027年3月頃に確定するため、2024年実績により評価する

※2 達成度は現況値からの増加数で算出

政策コード	408
担当部局	環境文化部

1　政策の概要

重点戦略	Ⅳ　安心で豊かさが実感できる地域の創造
プログラム	脱炭素化推進プログラム
プログラムの概要	豊かな森林や水資源など自然環境に恵まれた本県の強みを生かし、温室効果ガス削減や再生可能エネルギーの導入促進など、地域における脱炭素化を進めます。また、脱炭素に向けた取組を通じて経済と環境の好循環を生み出すことにより、地域の活性化を図り、持続可能な社会の構築を目指します。

2　施策の達成レベル

施　策　名		対応する指標	2025	2026	2027	2028
40801	【重点】温室効果ガスの削減に向けた取組等の推進	1	3.0			
40802	【重点】電気自動車等の普及拡大	2	1.0			
40803	【推進】再生可能エネルギーの導入促進	3	3.0			
40804	【推進】食品ロス削減の推進	4	3.0			
40805	【推進】豊かな森林資源を生かした二酸化炭素吸収源対策の推進	5	4.0			
40806	【推進】脱炭素化に資する産業の育成	6	5.0			
	プログラムの達成レベル		**3.2**			

3　総合評価

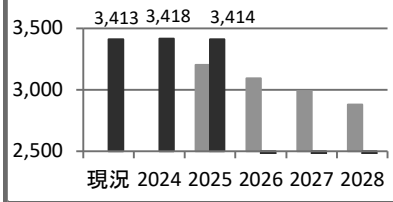
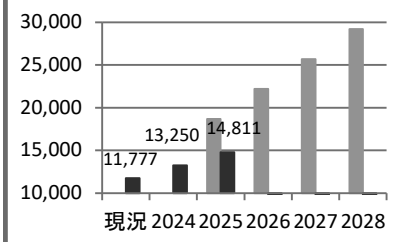
2025	2026	2027	2028
3.2			

・事業者の脱炭素化の取組を支援したことにより、2024年度の温室効果ガス排出量は、目標には届かなかったもののコロナ禍により経済活動が抑制傾向にあった2022年度と同レベルとなった。また、再生可能エネルギー導入による地域づくりの拡大や、食品ロス削減に向けた県民の意識醸成・実践行動への啓発活動も着実に進展した。
・一方で、ＥＶ等の普及拡大に向け、車両や充電設備の導入支援や、試乗会等による魅力ＰＲ、充電設備設置に向けたセミナー等を実施したものの、普及台数は目標を下回る結果となった。

4　今後の政策推進に向けての課題

・温室効果ガス排出量が目標に届かなかったことから、引き続き、関係機関等と連携し、事業者の脱炭素化に向けた取組を支援していく必要がある。
・普及台数が目標を下回ったＥＶ等について、車両・充電設備の導入支援のほか、試乗会の拡大や動画制作など、ＥＶ等の魅力を伝える実効性のある事業を実施し、さらなる普及拡大を図る必要がある。
・再生可能エネルギー導入に向けて市町村との連携を強化するとともに、食品ロス削減では、県民が興味関心を持ち具体的行動を習慣化できるような事業や広報に取り組む必要がある。

5　重点施策に係る生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況			
			2025	2026	2027	2028
1　岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の対象となる事業所の温室効果ガス排出量  	現況値	目標値	3,201	3,094	2,988	2,882
	3,413万t-CO2	実績値	3,414			
	目標値	達成率(%)	93.8			
	2,882万t-CO2	達成度	3			
	指標の説明	岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の対象となる事業所の温室効果ガス排出量　※2025年実績は2027年1月頃に公表されるため、2024年実績により評価する。				
2　電気自動車等の普及台数  	現況値	目標値	18,700	22,200	25,700	29,200
		増加数	〈6,923〉	〈10,423〉	〈13,923〉	〈17,423〉
	11,777台	実績値	14,811			
		増加数	〈3,034〉			
	目標値	達成率(%)	43.8			
	29,200台	達成度	1			
	指標の説明	県内の電気自動車、プラグインハイブリッド車、燃料電池自動車の登録台数(達成率は現況値からの増加数で算出)				

6　推進施策に係る目標の進捗(達成)状況

名称	現況値	目標値	2025 目標値	2025 実績値	2025 達成度
3　再生可能エネルギー発電量	4,452GWh/年	5,116GWh/年	4,718	4,624	3
4　食品ロス問題を認知して削減に取り組む県民の割合	72.5%	80.0%	75.5	73.7	3
5　再造林面積	149ha/年	880ha	190	199	4
6　循環型産業・脱炭素関連の新技術・新製品の研究開発等への支援件数 ※1	110件	142件	118	141	5

※1　達成度は現況値からの増加数で算出

政策コード	409
担当部局	環境文化部

1　政策の概要

重点戦略	Ⅳ　安心で豊かさが実感できる地域の創造
プログラム	生きがい・元気づくり支援プログラム
プログラムの概要	文化、スポーツ活動に親しむ環境づくりや、お互いを尊重し、元気に活動する機会の拡大などを通じ、すべての県民が、安心して、豊かな心を育み、健やかな体づくりを進めることができる地域の創造を目指します。

2　施策の達成レベル

施　策　名		対応する指標	2025	2026	2027	2028
40901	【重点】文化とスポーツの力を活用した地域の活性化	1、2	3.5			
40902	【重点】生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりの推進	3	3.0			
40903	【重点】トップアスリートの育成・強化等の推進	4	2.0			
40904	【推進】さまざまな分野におけるボランティア活動等の支援	5	3.0			
40905	【推進】「男女が共に輝くおかやまづくり」の推進	6	4.0			
40906	【推進】県民が文化に親しめる環境づくりの推進	7	1.0			
40907	【推進】外国人を含むすべての人が住みやすい多文化共生社会づくりの推進	8	3.0			
40908	【推進】人権尊重の社会づくりの推進	9	3.0			
40909	【推進】生涯学習活動の推進	10	4.0			
		プログラムの達成レベル	**2.9**			

3　総合評価

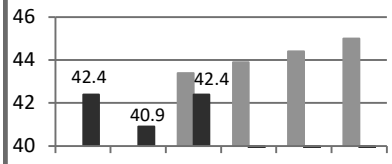
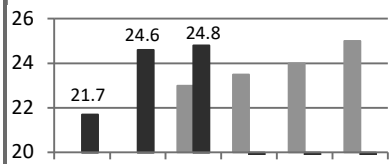
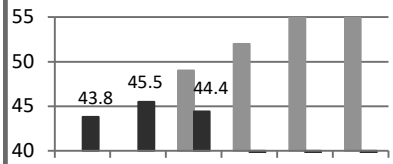
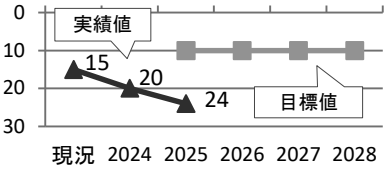
・文化・スポーツの力を活用した地域の活性化では、アートイベントの開催によるにぎわい創出のほか、トップクラブチームの応援イベントの開催による応援機運の醸成、選手の育成や指導者の養成、競技体験会の開催などを通じ、多様な主体が文化・スポーツに親しみ楽しむことができる機会の創出、競技力向上を図った。
・学校部活動の地域展開に向けては、県教委と連携した市町村等を対象の合同連絡会や、指導者の確保、資質向上研修会の開催などを通じ、地域クラブ活動の環境整備を進めた。
・一方で、県民が文化に親しめる環境づくりにおいては、天神山文化プラザの利用者数が前年度を上回ったものの、県立美術館の特別展入館者数や県民文化祭の参加事業数・参加者数が前年度を大きく下回るなど、文化芸術への参画促進には課題が残った。

2025	2026	2027	2028
2.9			

4　今後の政策推進に向けての課題

・文化振興では、市町村や関係団体等と連携し、県民が文化に触れ親しむ環境整備やにぎわい創出に取り組むとともに、スポーツ振興では、県民ニーズに沿った情報発信や効果的な企画の検討により、スポーツに関わる人や触れる機会を創出する必要がある。
・学校部活動の地域展開に向けて、引き続き、市町村等と連携を図り、地域の実情に応じた取組を支援するとともに、指導者の確保と資質向上に取り組むほか、若手・中堅指導者の育成が急務となっている競技団体等と連携し、スポーツ振興の担い手を育成する必要がある。
・県立美術館で幅広い世代がより豊かな体験を得られるよう様々な取組を展開するとともに、近年減少傾向にある県民文化祭のプログラム内容や広報活動の充実を図る必要がある。

5　重点施策に係る生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等	年度別状況				
			2025	2026	2027	2028
1　文化芸術に関わった(自ら実践・直接鑑賞した)人の割合  	現況値	目標値	43.4	43.9	44.4	45.0
	42.4%	実績値	42.4			
	目標値	達成率(%)	97.7			
	45.0%	達成度	3			
	指標の説明	「県民満足度調査同時調査」における文化芸術に関わった(自ら実践・直接鑑賞した)人の割合				
2　県内で行われたスポーツ大会やスポーツの試合を観戦した人の割合  	現況値	目標値	23.0	23.5	24.0	25.0
	21.7%	実績値	24.8			
	目標値	達成率(%)	107.8			
	25.0%	達成度	4			
	指標の説明	「県民満足度調査同時調査」における県内で行われたスポーツ大会等を観戦した人の割合				
3　成人男女の1週間に1日以上運動・スポーツをする割合  	現況値	目標値	49.0	52.0	55.0	55.0
	43.8%	実績値	44.4			
	目標値	達成率(%)	90.6			
	55.0%	達成度	3			
	指標の説明	県内成人男女のうち1週間に1日以上運動・スポーツをする割合				
4　国民スポーツ大会における男女総合成績(天皇杯)順位  	現況値	目標値	10	10	10	10
	15位	実績値	24			
	目標値	達成率(%)	-			
	10位台	達成度	2			
	指標の説明	国民スポーツ大会における男女総合成績(天皇杯)順位				

6　推進施策に係る目標の進捗(達成)状況

名称	現況値	目標値	2025 目標値	2025 実績値	2025 達成度
5　岡山県ボランティア・NPO活動支援センターの利用者数	39,507人/年	42,000人/年	40,500	40,373	3
6　ウィズセンター利用者数	13,142人/年	16,000人/年	14,200	15,596	4
7　おかやま県民文化祭の主催・参加プログラム件数	174件/年	190件/年	181	142	1
8　多文化共生関連事業等への参加者数	6,597人/年	8,100人/年	6,975	6,785	3
9　人権啓発講座・研修会の参加者数	5,247人/年	6,000人/年	6,000	5,171	3
10　県生涯学習センター主催の人材育成に係る講座参加者数(累計)　※1	490人	2,940人	1,470	1,541	4

※1　達成度は現況値からの増加数で算出

政策コード	410
担当部局	総合政策局

1　政策の概要

重点戦略	Ⅳ　安心で豊かさが実感できる地域の創造
プログラム	情報発信力強化プログラム
プログラムの概要	インパクトのあるプロモーションを戦略的に推進するほか、SNS等による時宜を捉えた発信や、デジタルマーケティングの効果的な活用などにより、本県の魅力を力強く発信するとともに、必要な人にしっかりと情報が伝わるよう、親しみやすくわかりやすい情報発信に努めます。

2　施策の達成レベル

施策名		対応する指標	2025	2026	2027	2028
41001	【重点】強みを生かしたイメージアップ戦略の推進	1、2	3.5			
41002	【重点】首都圏アンテナショップを拠点とした岡山の魅力発信	1、2	3.5			
41003	【重点】SNS等による魅力発信の推進	3	5.0			
41004	【重点】わかりやすい県政情報の発信	4	4.0			
41005	【推進】本県に対する愛着心と誇りの醸成	5	3.0			
41006	【推進】映像作品を使った岡山の発信	6	2.0			
		プログラムの達成レベル	**3.5**			

3　総合評価

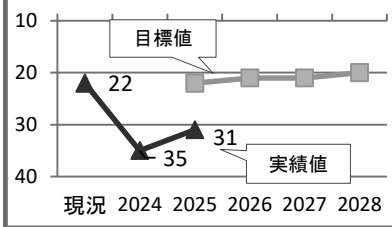
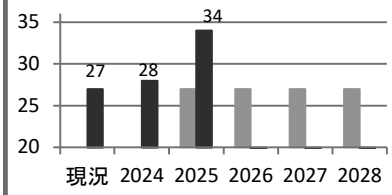
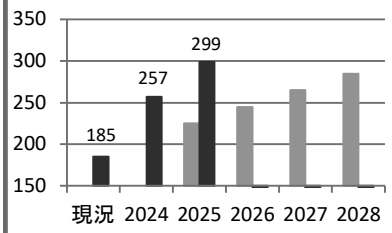
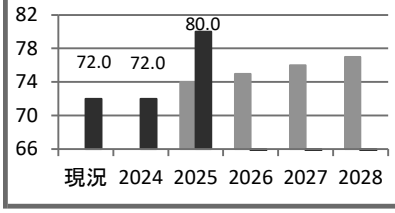
・積極的にＰＲやメディア等への取材誘致に取り組んだ結果、メディア露出の広告換算額、ＳＮＳフォロワー等の数が目標を上回り、本県の魅力を広く発信することができた。
・県が発信した情報について「わかりやすい」と回答した人の割合についても目標を上回り、効果的でタイムリーな県政広報が実施できた。
・動画やＰＲ企画等により本県の認知度向上に努めた結果、昨年度から順位が４つ上がり、全国における本県の認知度は全国31位となったが、目標達成には至らなかった。

2025	2026	2027	2028
3.5			

4　今後の政策推進に向けての課題

・本県の強みである資源や素材の魅力を全国に浸透させるため、様々な媒体で情報発信するとともに、ＰＲ効果を調査・分析しながら、関係部局・団体等と連携し、効果的に情報発信していく必要がある。
・本県の発信する情報がしっかりと受け手に届くよう、媒体、時期、ターゲット等を適切に選定するとともに、デジタルマーケティングも効果的に活用しながら、伝え方に工夫を凝らした情報発信に努めていく必要がある。

5　重点施策に係る生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況			
			2025	2026	2027	2028
1　全国における本県の認知度 	現況値	目標値	22	21	21	20
	22位	実績値	31			
	目標値	達成率(%)	-			
	20位	達成度	2			
	指標の説明	民間シンクタンク調査による47都道府県の認知度の全国順位				
2　県の働きかけによる首都圏テレビなどメディア露出の広告換算額 	現況値	目標値	27	27	27	27
	27億円/年	実績値	34			
	目標値	達成率(%)	125.9			
	27億円/年	達成度	5			
	指標の説明	首都圏等のメディアへの働きかけにより、県の情報が露出された首都圏等のテレビ番組(地上波)やWEB記事、新聞等を広告料として換算した額				
3　県のSNSフォロワー等の数 	現況値	目標値	225	245	265	285
		増加数	〈40〉	〈60〉	〈80〉	〈100〉
	185千人	実績値	299			
		増加数	〈114〉			
	目標値	達成率(%)	285.0			
	285千人	達成度	5			
	指標の説明	委託事業等も含め、県の魅力発信に活用しているフェイスブック、X、インスタグラムのフォロワー数等の計(達成率は現況値からの増加数で算出)				
4　県が発信した情報について「わかりやすい」と回答した人の割合 	現況値	目標値	74.0	75.0	76.0	77.0
	72.0%	実績値	80.0			
	目標値	達成率(%)	108.1			
	77.0%	達成度	4			
	指標の説明	県が発信した情報について「わかりやすい」と回答した人の割合				

6　推進施策に係る目標の進捗(達成)状況

名称	現況値	目標値	2025 目標値	2025 実績値	2025 達成度
5　晴れの国おかやま検定の受験者数	773人/年	800人/年	785	765	3
6　ロケ誘致件数	38件/年	45件/年	40	27	2